

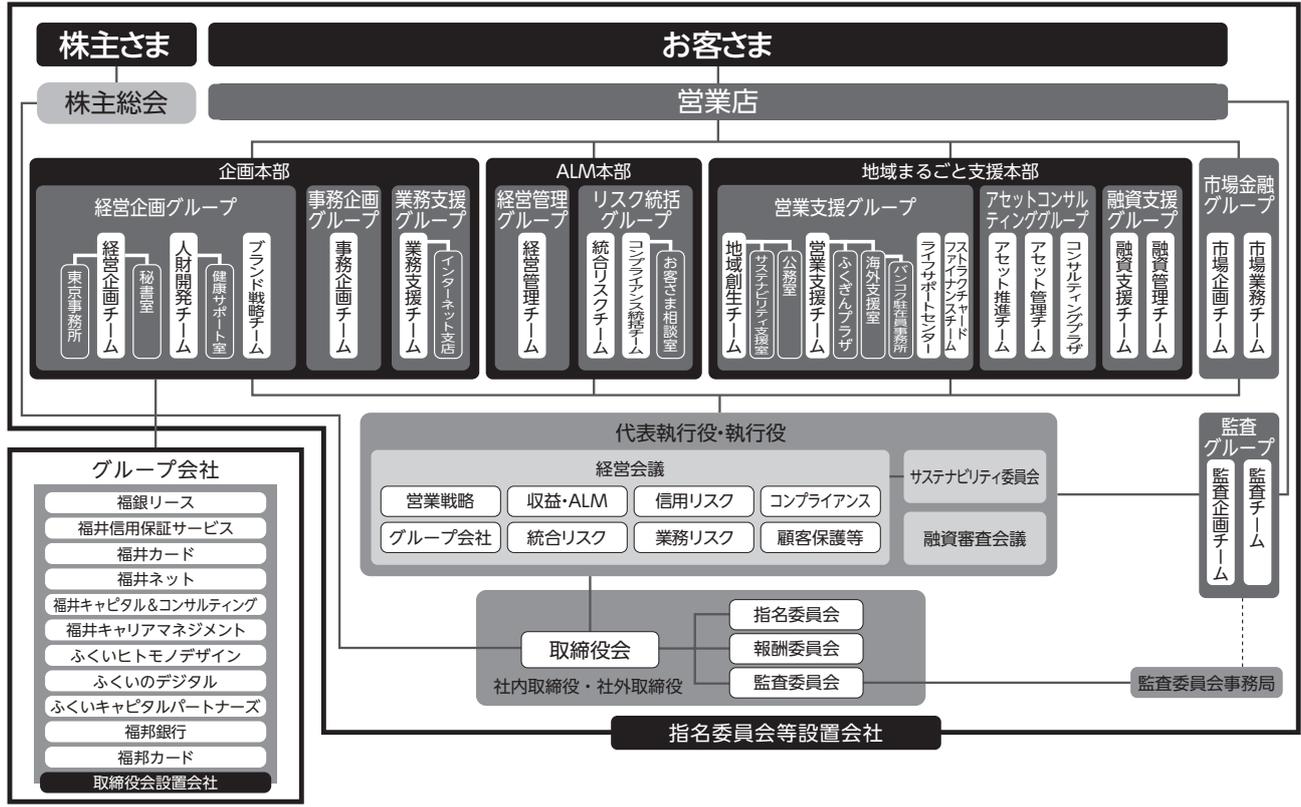
プロフィール (2024年3月末日現在)

名称	株式会社 福井銀行 (The Fukui Bank, Ltd.)	店	舗 / 有人店舗数	62か店
本店の所在地	〒910-8660 福井県福井市順化1丁目1番1号 電話 0776 (24) 2030 (代表) URL https://www.fukuibank.co.jp/		店舗内店舗数	33か店
設立年月日	1899年12月19日		その他	3か店
資本金	179億65百万円		合計	98か店
従業員数	1,258名 (出向者、嘱託および臨時職員含めず)		※店舗内店舗：他の当行店舗内に併設移転した店舗 ※その他：振込専用支店、ジュラチック王国支店（インターネット支店）、小浜支店名田庄営業室（毎週水曜日（休日除く）のみ営業）	
			店舗外自動機設備	36か所 (ATM運営会社・セブン銀行との共同設置を除く)

主要な業務の内容

●預金業務	預金…当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、財形預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。 譲渡性預金…譲渡可能な定期預金を取り扱っております。	●付帯業務 代理業務…①日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 ②地方公共団体の公金取扱い業務 ③勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ④株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ⑤日本政策金融公庫および住宅金融支援機構等の代理貸付業務 ⑥信託代理店業務 ⑦保険代理店業務 保護預りおよび貸金庫業務 有価証券の貸付 債務の保証（支払承諾） 金の売買 公共債の引受 国債等公共債および証券投資信託の窓口販売 保険の窓口販売 クレジットカード業務 コマース・ペーパー等の取扱い 金融商品仲介業務 M&A関連業務 確定拠出年金の運営管理機関業務 金利・通貨等のデリバティブ取引 相続関連サービスの媒介
●貸出業務	貸付…手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。 手形の割引…商業手形、銀行引受手形および荷付為替手形の割引を取り扱っております。 電子記録債権の割引	
●商品有価証券売買業務	…国債等公共債の売買業務を行っております。	
●有価証券投資業務	…預金の支払準備および資金運用のための国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。	
●内国為替業務	…送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。	
●外国為替業務	…輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。	
●社債受託及び発行・支払代理人業務	…担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託および発行・支払代理人に関する業務を行っております。	

組織図 (2024年6月末日現在)



グループ会社 (2024年3月末日現在)

当行グループ（当行及び当行の関連会社）は、当行及び連結子会社11社、非連結子会社3社で構成され、銀行業務を中心に総合的な金融サービスの提供に係る事業等を行っております。

当行グループの事業に係る位置付けは次のとおりであります。

〔総合金融サービス業〕

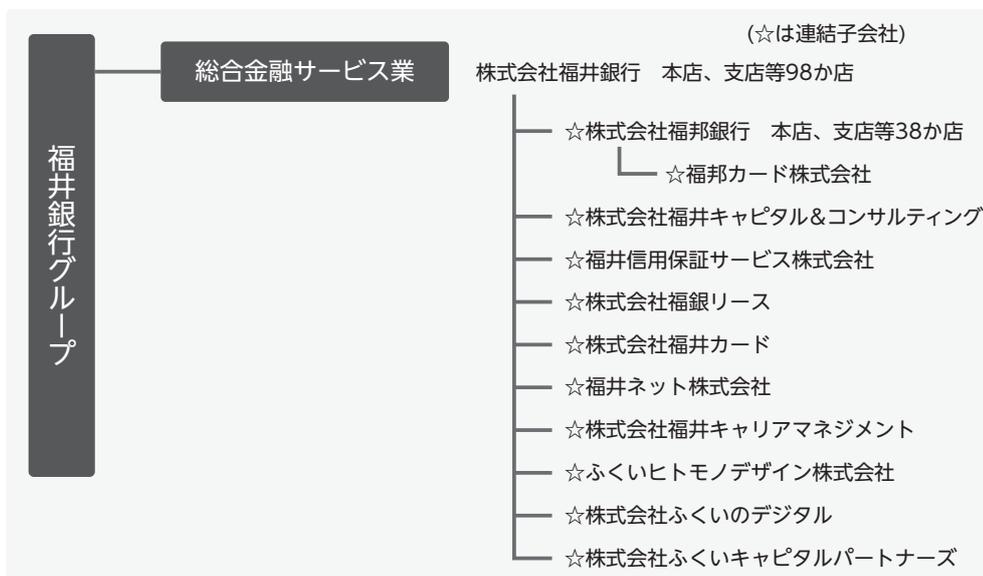
当行の本店、支店、出張所の98か店において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、外国為替業務、国債・投資信託・個人年金保険等の販売業務等を行い、地域の金融パートナーとして、様々な商品・金融サービスの提供に積極的に取り組んでおり、当行グループの中心的業務と位置付けております。

連結子会社の株式会社福邦銀行においても、本店、支店の38か店において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、国債・投資信託・個人年金保険等の販売業務等を行い、地域の金融パートナーとして、様々な商品・金融サービスの提供に積極的に取り組んでおります。

また、連結子会社の株式会社福井キャピタル&コンサルティング、福井信用保証サービス株式会社、株式会社福銀リース、株式会社福井カード、福邦カード株式会社、福井ネット株式会社、株式会社福井キャリアマネジメント、ふくいヒトモノデザイン株式会社、株式会社ふくいのデジタル、株式会社ふくいキャピタルパートナーズにおいても、コンサルティング業務、投資事業組合財産の管理・運用業務、保証業務、リース業務、クレジットカード業務、当行のコンピュータ関連業務、労働者派遣業務、有料職業紹介業務、旅行業法に基づく旅行業務、地場産品・地域資源・地域ブランド品等の販売業務、スマートフォンアプリケーションソフトの企画・管理・運営業務等の総合金融サービス業務を展開しております。

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。

●事業系統図



●グループ会社の概況

名 称	所 在 地	資本金 (百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の 所有割合 (%)	名 称	所 在 地	資本金 (百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の 所有割合 (%)
(株) 福銀リース	福井市照手1丁目2番17号	50	リース業務	1983年9月16日	100.00	ふくいヒトモノ デザイン (株)	福井市順化1丁目1番1号	90	旅行業務 物品販売業務	2022年7月28日	100.00
福井信用保証 サービス (株)	福井市順化1丁目3番3号	50	住宅ローン等の保証業務	1982年11月6日	100.00	(株) ふくいのデジタル	福井市順化1丁目1番1号	100	アプリの企画・ 管理・運営業務	2022年9月5日	50.00
(株) 福井カード	福井市順化1丁目3番3号	30	クレジットカード業務	1986年8月5日	100.00	(株) ふくいキャピタル パートナーズ	福井市順化1丁目1番1号	70	ファンド運営業務 コンサルティング業務	2023年10月6日	100.00
福井ネット (株)	福井市春日町238番3号	40	コンピュータ関連業務	1997年4月21日	100.00	(株) 福邦銀行	福井市順化1丁目6番9号	9,800	銀行業務	1943年11月5日	57.88
(株) 福井キャピタル& コンサルティング	福井市順化1丁目1番1号	50	ファンド運営業務 コンサルティング業務	2015年7月1日	100.00	福邦カード (株)	福井市順化1丁目3番3号	30	クレジットカード業務	1990年5月31日	(57.88)
(株) 福井キャリア マネジメント	福井市順化1丁目1番1号	50	労働者派遣業務 有料職業紹介業務	2021年11月12日	100.00						

(注)「議決権の所有割合 (%)」欄の () 内は、間接所有の割合 (内書き) であります。

安心と信頼

みなさまから安心・信頼される銀行をめざして ————— 福井銀行の実績と取組み

内部統制の整備の状況

福井銀行では、取締役会において、会社法に基づく業務の適正を確保する体制として、監査委員会の職務執行のために必要な事項、執行役の職務執行の適法性・適正性を確保するために必要な体制等について決議し、内部統制を確保する体制を整備しております。

また、金融商品取引法で求められる財務報告に係る内部統制については、「財務報告に係る内部統制の基本方針」および「財務報告に係る内部統制規程」を制定し、財務報告の信頼性の確保に努めております。なお、2024年3月末時点における当行の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

コンプライアンス（法令等遵守）への取組み

コンプライアンス基本方針

福井銀行では、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つと位置付け、「コンプライアンス基本方針（5つの原則）」を取締役に決定し、法令等遵守態勢の強化を図るとともに、役員員に対するコンプライアンスの徹底に努めております。

- 「コンプライアンス基本方針」
 1. 自己コントロール能力向上の原則
 2. 情報開示の原則
 3. 透明で適正な意思決定の原則
 4. お客さま本位の営業の原則
 5. 反社会的勢力との断固対決の原則

コンプライアンス体制

頭取をコンプライアンス統括責任者とし、「経営会議」において重要事項の審議、決定および報告を行うとともに、コンプライアンス態勢の実効性を評価し、問題点等を改善しております。

また、コンプライアンス体制を規定し、守るべき法令や行動規範および対応等を「コンプライアンスマニュアル」に示し、「コンプライアンス・プログラム（具体的な実践計画）」を毎年策定し実践しております。

具体的な取組み

営業店・本部の全部署にコンプライアンス責任者・担当者を任命し、全職員に対してコンプライアンスチェックリストによる遵守状況の自己検証、コンプライアンス責任者・担当者による個人面談と勉強会を定例的に実施し、コンプライアンス意識の醸成と向上を目指した取組みを行っております。

リスク統括グループコンプライアンス統括チームを統括部署として、コンプライアンスに関する情報の一元管理を行い、コンプライアンス違反の未然防止と態勢の強化を図っております。

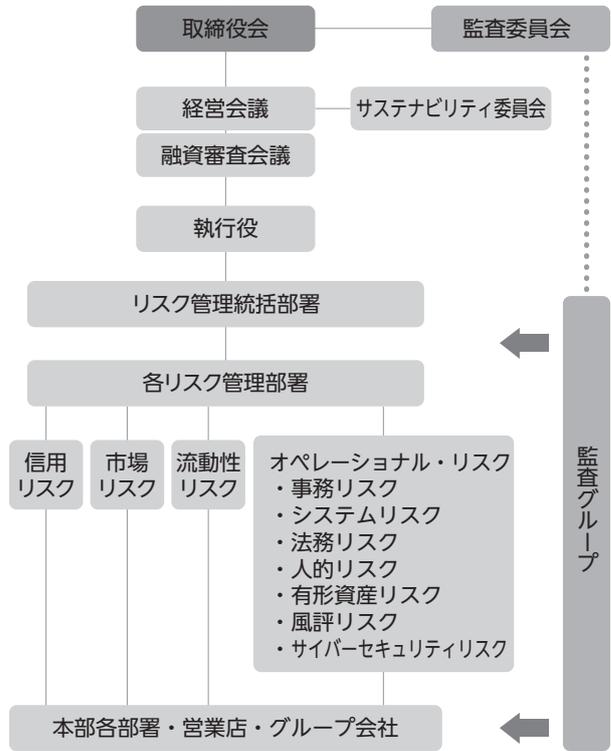
また、公益通報者保護法に則った「相談・報告制度」を整備し、行内窓口以外にも顧問弁護士による外部の通報窓口やハラスメント相談窓口を設置することで、組織の自浄機能を高めております。

反社会的勢力排除及びマネー・ローンダリングへの対応

福井銀行では、反社会的勢力との関係遮断を行っていくことや、マネー・ローンダリング等を防止していくことは、企業としての社会的責任を果たし、また各ステークホルダーからの信頼を維持し、経営の健全性を確保していくためには必要不可欠なものと考えております。組織としての方針を明確にするため、「反社会的勢力への対応にかかる基本方針」および「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止の基本方針」を制定し、各種対策を実施しております。

リスク管理体制

金融情勢が変化し、銀行が抱える各種リスクも多様化・複雑化するなか、経営の健全性および収益の安定性を確保していくために、当行グループはリスク管理態勢の強化を重要な経営課題として位置付け、継続的に態勢整備を実施しております。具体的にはリスクの統括部署およびリスクカテゴリーごとにリスク管理部署を設置し、管理プロセスを確立させ、継続的かつ効果的なリスク管理を実施しております。



リスク管理の基本方針

当行グループでは、取締役会で決定した「リスク管理の基本方針」に、以下の基本方針を定めております。

当行は、収益機会の獲得および拡大につながるリスクを適切にとりながら収益力の強化に努めると同時に、経営体力を損ねることのなきよう適切なリスク管理に努め、地域における金融システムの担い手として健全かつ収益力の高い経営を行わなければならない。

その実現のために、個々のリスク管理の態勢整備に加え、それらを統合的に把握し管理する統合的リスク管理の態勢整備を行うことを通じて、業務の健全性および適切性の確保を行うことをリスク管理の基本方針とする。

統合的リスク管理

「統合的リスク管理」とは、各種業務で発生する様々なリスクをその要因別に「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」「オペレーショナル・リスク」等のカテゴリー毎に評価し、それらを体系的に捉え、経営体力と比較・対照することで自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当行グループでは、VaR（バリュー・アット・リスク）を用いて各リスクを計量化し評価・コントロールする「量的管理」と、VaRによらない個別の方法で各リスクを質的に評価・コントロールする「質的管理」の両方を行うことで、統合的なリスク管理を行う態勢を整えております。

「量的管理」では、リスク資本制度に基づいて「経営会議」でリスクカテゴリー別に配賦する資本額（リスク資本）の決議を行い、その範囲内にそれぞれのリスク量（VaR）をコントロールすること

で、全体のリスクを経営体力の範囲内におさめる「統合リスク管理」の手法を用いております。

なお、金利リスクは一般的には市場リスクの中に含まれるものですが、当行グループではその運用・調達目的の違いを考慮し、有価証券勘定の金利リスクと預貸金勘定の金利リスクに分けた管理を行い、預貸金勘定の金利リスクは独立してリスク資本を配賦する方法を採用しております。

信用リスク管理

「信用リスク」とは、信用供与先の信用状況の悪化により、銀行の資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、信用リスクは業務運営において不可避のリスクであり、かつ迅速な対応が必要であることを十分認識した上で、信用リスクをコントロールできる態勢を築くことを目指しております。とりわけ、与信集中リスクについては、信用リスクの集中を回避し、バランスのとれた与信ポートフォリオを構築するため、「与信集中リスク管理基準」を制定し、与信集中リスクの把握・改善に取り組んでおります。

また、信用供与にかかるリスクを客観的かつ計量的に把握するため、「信用リスク計測基準」を制定し「信用リスクの計量化」に取り組んでおります。

なお、計測した信用リスク量については信用格付別・業種別・地域別などの信用リスクの状況を評価・分析するとともに、「リスク資本制度」のもとでリスク量による量的な管理、コントロールを行っております。

市場リスク管理

「市場リスク」とは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいい、主として「金利リスク」「為替リスク」「価格変動リスク」があります。

当行グループでは、市場リスク管理をALM（資産・負債の総合的管理）の一環として位置付け、自己資本、収益力、預貸動向や有価証券保有状況等を踏まえたうえで、リスクとリターンのバランスを適切に保つことを方針としております。

具体的には、預金、貸出金、有価証券等の資産・負債について銀行勘定の金利リスクに基づき、金利リスク量をコントロールしております。市場投資部門における市場リスクについては、半期毎に「経営会議」において「有価証券運用計画」を審議したうえで、ポジション枠や損失限度を設定することで市場リスク量を一定の範囲内にコントロールしております。

また、市場関連取引の相互牽制のために、市場リスクの管理部署（ミドル・オフィス）は、フロント・オフィス、バック・オフィスとは組織的に分離し、日次でリスクの状況をモニタリングしております。

流動性リスク管理

「流動性リスク」には、①運用と調達の期間のミスマッチや予期せぬ資金の流出により必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクである「資金繰りリスク」、②市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることにより、損失を被るリスクである「市場流動性リスク」、③対外決済において資金または資産を予定通り受け取れなくなることにより損失を被るリスクである「決済リスク」が含まれます。

流動性リスクは、これら資金繰りリスク、市場流動性リスク、決済リスクの3つのリスクを総合したリスクですが、市場流動性リスク、決済リスクは最終的に資金繰りリスクに帰結するものであり、資金繰りリスクの管理が重要な経営課題であると捉えております。

当行グループでは、組織的に独立したフロント・オフィス、バック・オフィス、ミドル・オフィスを設置することで、相互牽制を図りながら資金繰りリスクの管理を行っております。

具体的には、資金繰りの状況に応じて、「平常時」「懸念時」「危機時」の区分を設定し、それぞれの区分に応じた管理手法、報告体制、決裁方法を整備しております。また、短期間で資金化可能な資産を一定額以上確保する流動性準備高の管理を通じたモニタリングを行っております。

オペレーショナル・リスク管理

「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務のプロセス、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または、外部で発生した出来事等により、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、オペレーショナル・リスクを①事務リスク、②システムリスク、③法務リスク、④人的リスク、⑤有形資産リスク、⑥風評リスク、⑦サイバーセキュリティリスクの7つに分類して管理しております。

当行グループでは、オペレーショナル・リスクの増加が、銀行業務の堅確性を低下させ、ひいては株主のみならず、お客さまの当行グループへの信頼を低下させるものであるとの認識に立ち、リスク発生の未然防止および発生時の影響極小化に努めております。

なお、オペレーショナル・リスク相当額の算出には「基礎的手法」を採用しております。

<事務リスク管理>

「事務リスク」とは、福井銀行の役職員が正確な事務を怠ること、あるいは事務処理の遂行の過程で不正行為を犯すことや事故を起こすことにより、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、事務管理態勢の充実強化を図り、厳正に事務を行うための内部環境の整備に取り組んでおります。

具体的には、以下のような枠組みにより事務リスクの管理を行っております。事務ミス情報、事務事故情報、内外監査等の指摘内容、およびリスクに関する主な指標の収集を行い、傾向分析、原因分析を行っております。分析結果に基づき、リスク軽減のための対策を検討し、事務フロー・事務処理規程・事務体制面の見直し、事務指導臨店、自店検査、教育・研修、事務機器の整備、システム化、営業店事務の本部集中化、ルール遵守の徹底などを行っております。

事務リスクの管理状況については、オペレーショナル・リスクの総合的管理部署、担当執行役および経営会議等に報告しております。

<システムリスク管理>

「システムリスク」とは、コンピュータシステムのダウンまたは誤作動等システムの不備等に伴い損失を被るリスク、コンピュータシステムが不正に使用されることにより損失を被るリスクをいいます。

お客さまに質の高い金融サービスを提供していくためには、これらのシステムリスクを回避し、コンピュータシステムを安全かつ安定して稼働させることが必要不可欠であり、当行グループでは、コンピュータシステムと保有する情報の適切な保護に努めております。

具体的には、主要機器およびネットワークに関しては常時稼働監視を行っており、障害発生時には自動的にバックアップに切替えるなど、ソフト面ハード面の両面での対応を実施しております。

今後も情報技術の高度化やネットワークの拡大に伴い、システムリスクの多様化・複雑化が予想されますが、引き続き適切な対策を講じることにより、コンピュータシステムの安全で安定した稼働に努めてまいります。

<法務リスク管理>

「法務リスク」とは、法令等の遵守状況や顧客保護等が十分でないことにより損失を被るリスク、訴訟等への対応が不十分なことにより損失を被るリスク、およびこれに類するリスクを指します。

当行グループでは、法令等遵守態勢の整備、お客さまからのご意見を適時・適切に反映させる仕組みを通じた顧客保護等管理態勢の整備と、これら態勢整備にかかる検証を通して、態勢不備に起因する事象、損失、損害の迅速かつ適切な把握・分析を行い、法務リスクの削減に努めております。

<人的リスク管理>

「人的リスク」とは、報酬・手当・解雇等、人事運営上の不公平・不公正から発生する問題により、損失・損害を被るリスクを指します。

当行グループでは、人事運営上の不公平・不公正に基づく問題が発生することがなきよう、労務関連法規・法令を踏まえた人事制度の設定および運用を通して、適切な労務管理・人員配置・研修・教育を継続的に実施し、人的リスクの削減に努めております。

<有形資産リスク管理>

「有形資産リスク」とは、地震、豪雨、豪雪などの災害等により、有形資産に毀損・損害が生じるリスクを指します。

当行グループでは、災害等に起因する損害を最小限に抑えるために、内外の情報に基づき災害等の有形資産への影響を把握・分析することに努め、適切な保守・投資を継続的に実施し、資産の耐久性を保持することで、有形資産リスクの削減に努めております。

<風評リスク管理>

「風評リスク」とは、評判の悪化や風説の流布などで信用が低下することにより、損失・損害が生じるリスクを指します。

当行グループでは、適切な情報開示の実施により経営の透明性を確保するとともに、本部と営業店との間の迅速な指示・連絡体制の確立を通して、風評リスクの削減に努めております。

<サイバーセキュリティリスク管理>

「サイバーセキュリティリスク」とは、情報通信ネットワークや情報システム等の悪用により、サイバー空間を経由して行われる不正侵入、情報の窃取、改ざんや破壊、情報システムの作動停止や誤作動、不正プログラムの実行やDDoS 攻撃等の、いわゆる「サイバー攻撃」により、サイバーセキュリティが脅かされるリスクをいいます。

当行グループでは、サイバー攻撃によるお客さまへの被害を防止し、安定したサービスを提供するため、サイバーセキュリティ管理態勢を構築し、サイバー攻撃に備えたセキュリティ対策、及びサイバー攻撃を受けた場合の被害の拡大防止に努めてまいります。

危機管理計画

銀行は、金融サービスの提供という社会機能維持に関わる事業者としての使命を有しております。福井銀行では、大規模災害等の危機発生時において、金融システム機能の維持に必要な業務の継続や早期再開を可能とするため、「危機管理計画」を策定しております。「危機管理計画」では、「常に人道的配慮を最優先に考えて行動する」「金融システムの維持に努めることにより、金融機関としての社会的責任を果たす」「地域社会や地域経済の早期の安定と回復に貢献する」ことを基本理念に掲げ、必要な体制整備を行うと同時に、定期的な訓練を実施するなど危機対応力の強化に努めております。

金融商品勧誘方針

福井銀行では様々な取扱金融商品の勧誘・販売にあたり、金融商品販売業者として遵守すべき「金融商品勧誘方針」を定め、店頭・ホームページに公表しております。

より一層のお客さまの福井銀行に対する信頼と金融商品に対するご理解をいただけるよう、「金融商品勧誘方針」を遵守した営業に努めております。

- わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産の状況に照らし、また、お客さまの投資目的、運用期間などを十分考慮のうえ、適切な商品をお勧めいたします。
- わたしたちは、お客さまとお取引を行う際には、商品内容やリスク内容等について適切な説明や情報の提供に努め、不確実な事項について断定的判断を提供することや確実であると誤認させるおそれのあるような説明はいたしません。

○わたしたちは、お客さまの誤解を招くような勧誘や、不退去などの迷惑行為を行いません。また、お客さまの希望や了解がない限り、お客さまにご迷惑となる時間帯や場所での勧誘を行いません。

○わたしたちは、お客さまに対して適正な勧誘を行うため、行内研修体制を充実させ、商品知識の研鑽に努めます。

お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口または下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

保険募集指針

福井銀行では、お客さまの幅広いニーズにお応えしていくために、生命保険・損害保険の取扱いを行っております。

お客さまに対して保険商品をお勧めする場合には、各種法令等を遵守し、公正な保険募集に努めております。

<1. 当行が募集を行う保険商品について>

- 当行が保険募集を行う際には、保険商品の引受保険会社名をお客さまに明示いたします。
- お客さまにお勧めする保険商品と同一種目の保険商品を当行が複数取扱いしている場合には、その商品名称や引受保険会社名についての情報を当該保険の保険募集時にご提供いたします。
- 保険契約はお客さまと保険会社とのご契約となることから、保険契約の引受や保険金等の支払は、保険会社が行うこと等を保険募集時に説明いたします。
- 引受保険会社が経営破綻した場合の取扱い等保険契約に関するリスクについても、保険募集時に説明いたします。

<2. 保険募集に関する当行の責任について>

- 当行では、保険募集に際しては、各種法令や監督指針等の遵守に努めております。
- 万一、説明義務違反等の法令等に違反する保険募集を行ったことにより、お客さまに損害が生じた場合には、当行が募集代理店としての販売責任を負います。

<3. ご契約後の当行対応について>

- 当行は、お客さまからの契約内容のご照会、保険募集に関する苦情・相談に対し、迅速かつ適切に対応いたします。
- ご相談の内容につきましては、当該保険契約の引受保険会社に連絡のうえ対応させていただく場合があります。また、保険金等の支払手続きに関する照会等を含む各種手続き方法につきましては、引受保険会社のコールセンター等をご案内させていただく場合があります。
- 保険募集時のご説明内容やご契約締結後におけるお客さまからの苦情・ご相談に関する面談記録等を、ご契約期間中にわたって適切に管理し、お客さまのご要望にお応えできるよう努めて参ります。
- お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口または下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

○募集代理店である当行が契約している銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関は、一般社団法人全国銀行協会です。

連絡先 全国銀行協会相談室
電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

利益相反管理基本方針

福井銀行では、福井銀行または福井銀行のグループ会社による取引に伴いお客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理基本方針」を定め、利益相反の管理を適切に行っております。「利益相反管理基本方針」の概要はホームページに公表しております。

契約している銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関

福井銀行では、銀行に対する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付ける下記の銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関と契約しております。

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室

電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

お客さま本位の基本方針

Fプロジェクトは、福井銀行・福邦銀行が、それぞれの理念のもと、お客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、「Fプロジェクト「お客さま本位の基本方針」」（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1. お客さま本位の業務運営の堅持

基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2. お客さまの最善の利益の追求

金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3. お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4. お客さまからいただく手数料等の明確化

金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧に説明することに努めてまいります。

5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失そのもののリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧に説明しご提供することに努めてまいります。

6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況

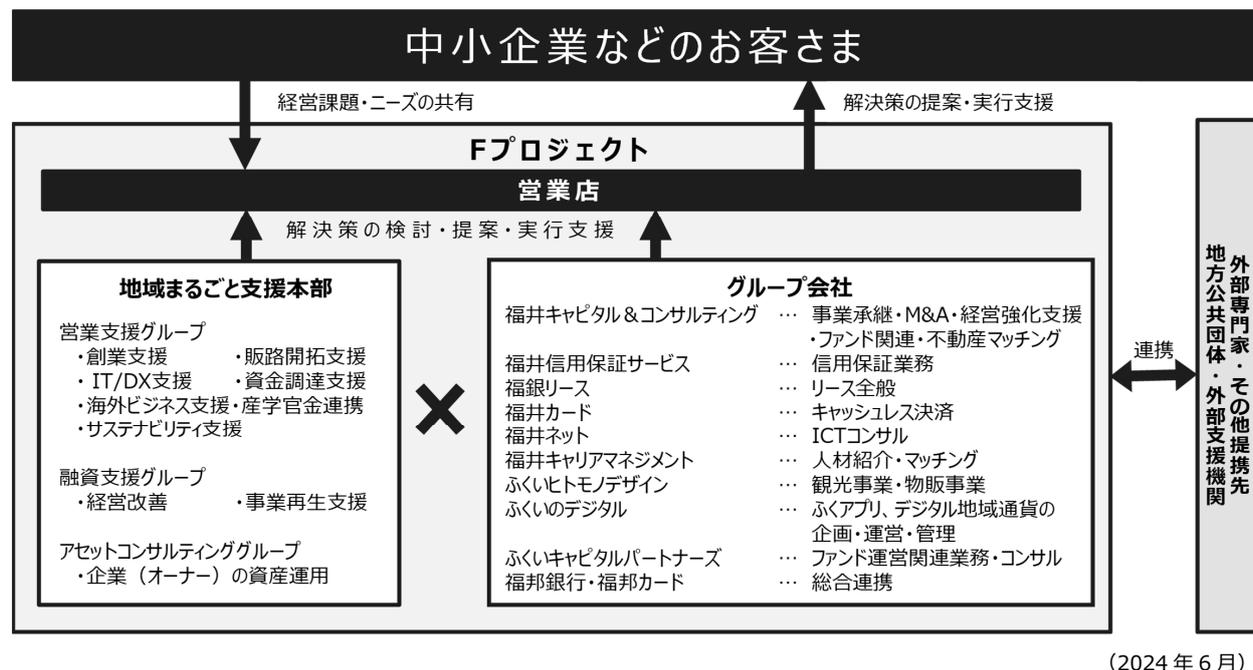
福井銀行と福邦銀行は、両行の新しい金融グループ「Fプロジェクト」により、地域マーケットでの存在感の高まりとともに、地元中小企業への経営支援に関するさらなる取組みが期待されています。

福井銀行の中小企業の経営支援に関する取組方針は、金融グループ「Fプロジェクト」として、地域やお客さまの多様なチャレンジに伴走し、「地域価値循環モデル」を実現することです。グループ職員一人ひとりがお客さまのチャレンジに寄り添い、より効果的なコンサルティング機能を発揮することで、地域やお客さまの課題解決とさらなる成長、資産形成の支援に取り組んでいます。

今後も引き続き、これまで培ってきた幅広いネットワークの活用や質の高いサービスを提供する態勢を進化させ、福井銀行グループがもつ強みやノウハウを融合し、お客さまの課題解決を支援していきます。

態勢整備の状況

「地域価値循環モデル」の実現に向け、「地域まるごと支援」の考え方を軸に営業店・本部・グループ会社が連携しお客さま支援の態勢を整えています。地域最大の金融グループとして高まる役割・責任を果たすために、地域のすべてのお客さま「地域まるごと」の幅広い課題「課題まるごと」を支援するためグループ全体が一体となって取り組んでいます。



中小企業の経営の改善に関する取組状況

お客さまの経営課題を営業店と本部およびグループ会社が共有・連携し、課題解決のための最適な資金支援、本業支援に努めています。

創業・新規事業開拓支援

創業期のお客さまには、専用融資商品の導入、グループ会社や外部機関との連携、セミナー開催を通じた情報提供などにより、支援の強化に取り組んでいます。

支援先数	131先
------	------

(2023年度中)

成長支援

成長期、安定期のお客さまには、グループ会社や外部機関とのネットワークを活用したビジネスソリューションの提供、国内外の商談会やセミナーの開催を通じて、ビジネスマッチングの機会や情報の提供、営業店と専門担当部署担当者との帯同訪問、情報提供による海外ビジネスサポートなどにより、支援の強化に取り組んでいます。

ソリューション提案先数	4,126先
-------------	--------

(2023年度中)

○ビジネスマッチング・商談会の開催

営業店と本部・グループ会社の専門担当者が連携し、お客さまのニーズに最適なマッチング先を選定し、ご紹介から商談成立まで支援しています。

マッチング成約・商談会参加先数	189先
-----------------	------

(2023年度中)

○IT・デジタルの活用

・法人取引先向け IT/DX コンサルティング

IT・デジタル化はあくまで手段ですが、その重要性和有用性は日々高まっています。

法人のお客さま向けのIT/DXコンサルティングは、お客さまの経営目標に対する現在の姿(状況)と理想像とのギャップを正確に理解・整理することから始まります。

急速に変化する環境のなか、よりお客さまに身近な存在として最適な解決策を提供することでお客さまのビジネス成長を支援します。

主な導入支援ツール

勤怠管理システム・売上管理システム・案件管理システム

支援件数	143件
------	------

(2023年度中)

○海外ビジネスサポート

世界的に不安定な外部環境のなか、海外への事業投資やサプライチェーンの強靱化、急激な相場変動への対応など、県内においても多くの企業が海外ビジネスにおける課題を抱えています。当行では海外経験を有する専門担当者が海外拠点と連携し、お客さまの事業拡大に向けた幅広い支援に取り組んでいます。

支援件数	149件
------	------

(2023年度中)

・海外販路拡大商談会

福井県には世界に通用する優れた県産品が数多く存在しており、多くの企業が輸出拡大にチャレンジしています。当行では中華圏、東南アジア圏を中心とする海外バイヤーとのネットワークの構築を行うとともに、商談会の場を提供することで、県内の食品関連事業者の海外販路拡大を後押ししています。

参加先数	27先
------	-----

(2023年度中)

・海外人材採用・人材育成支援

海外での事業展開には、各国の事情に精通したスタッフを確保することが欠かせません。当行は、各団体や大学と連携し、外国人留學生の採用や育成に向けたサポートを行っています。

合同企業説明会参加先数	17先
-------------	-----

(2023年度中)

○リース活用

当行グループ会社の福銀リースと連携し、リースを活用した設備導入・入替を支援しています。

支援件数	1,036件
------	--------

(2023年度中)

○補助金・助成金活用

当行は、「よろず支援拠点」などの外部専門機関と連携し、お客さまの事業の成長に向けて、ニーズにあった補助金・助成金に関する情報提供から申請手続きまでトータルで支援しています。

補助金は申請から採択・補助金の受領までタイムラグがあります。当行は、補助金を受領するまでの期間のつなぎ資金にも対応しています。

支援件数	63件
------	-----

(2023年度中)

○SDGs 経営・脱炭素経営関連支援

国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsや脱炭素は今やビジネス世界の共通言語となっています。SDGsや脱炭素への取組みがお客さまの事業拡大やビジネスチャンスの拡大につながると考え、地元企業のSDGs経営・脱炭素経営への取組みを支援しています。

SDGs 私募債引受 SDGs 経営支援サービス GHG 排出量算定コンサルティング	221件
--	------

(2023年度中)

○人材紹介・人材育成支援

近年、有効求人倍率は高いレベルで推移しており、福井県内においても人材に紐づく経営課題が多様化しています。経営幹部等のハイレベル人材やワーカー層の求人ニーズに加え、副業・兼業による専門人材ニーズも増加しています。

人材紹介に係るノウハウと情報を集約した福井キャリアマネジメントを中心に、提携人材紹介会社連携による外部人材活用や当行グループOB・OG人材の紹介を通して、地域のお客さまの経営課題解決と持続的成長を支援することで地域経済の活性化に貢献していきます。

求人取得件数	435件
--------	------

(2023年度中)

・先導的人材マッチング事業の取組み

当行と福井キャリアマネジメントおよび福邦銀行は、内閣府が実施する地方創生支援事業（先導的人材マッチング事業）の間接補助事業者として採択されており、3社共同で本事業に取り組んでいます。

申請承認件数	42件
--------	-----

(2023年度中)

・副業・兼業人材の活用支援

株式会社福井新聞社、株式会社みらいワークスと連携した「ふくショック」や産官学金連携のリカレントプログラム「ふくい企業価値共創ラボ」の他、提携人材紹介会社連携による副業・兼業のハイレベル人材の紹介を通じて、地域のお客さまの各種課題解決をサポートしています。

副業・兼業人材の活用先数	14先
--------------	-----

(2023年度中)

○経営者保証ガイドラインへの取組み

「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に努めています。

新規融資件数	3,789 件
うち無保証融資件数	2,669 件
経営者保証に依存しない融資割合	70.4%

(2023 年度中)

事業承継支援

お客さまの持続的な発展・存続を実現するため、後継者問題等の課題や事業拡大ニーズを有する取引先企業に対して、ノウハウを集約した本部・グループ会社の専門担当部署が中心となり、事業承継支援（自社株評価や株式承継対策を含めた支援）の強化をすすめています。

○事業承継コンサルティング

会社の「事業（経営）」と「自社株式」を円滑に“後継者”へ引き継ぐ事業承継は、会社が持続的に発展するための重要な課題です。当行はお客さまの円滑な事業承継を全力で支援しています。

支援件数	86 件
------	------

(2023 年度中)

○M&A コンサルティング

M&A で解決できる経営課題は多岐にわたります。当行がもつノウハウやネットワークを活かしながら、事業の発展につながる M&A 活用を提案、支援しています。

支援件数	161 件
------	-------

(2023 年度中)

○株式会社ふくいキャピタルパートナーズ設立

新分野への事業展開として、2023 年 10 月に当行の全額出資による投資専門子会社「株式会社ふくいキャピタルパートナーズ」を設立しました。

ふくいキャピタルパートナーズが運営するファンドを通じて、積極的なエクイティの提供と、F プロジェクトのネットワークを最大限に活用することにより、投資先企業の経営課題の解決と成長に伴走していきます。

ファンド概要

名称	ふくいキャピタルパートナーズ 第 1 号投資事業有限責任組合 「愛称：tsumugu〜つむぐ〜」
ファンド総額	20 億円
出資者	福井銀行、ふくいキャピタルパートナーズ
設立年月日	2023 年 10 月 17 日
投資対象	事業承継や事業・財務再構築などの支援ニーズのある中堅・中小企業

経営改善支援

成長鈍化期や再生期のお客さまの事業継続を実現するため、事業性理解による経営課題の明確化や解決策の提供に取り組んでいます。

○経営改善コンサルティング

経営改善に向けた計画策定から達成のためのフォローまで本部の専門担当者がトータルサポートします。また、中小企業活性化協議会、地域経済活性化支援機構（REVIC）などの外部支援機関を活用し、お客さまに最適な経営改善策の提供や事業再生に取り組んでいます。

経営改善支援先数	127 先
中小企業活性化協議会活用先数	71 先
中小企業の貸し付け条件変更先数	606 先

(2023 年度中)

地域の活性化のための取組状況

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行い、産学官金連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでいます。

○地方公共団体との主な連携と協働

福井市	福井駅前周辺再開発
あわら市	芦原温泉駅周辺整備
	あわら坂井ふるさと創造協議会（アズ AS ☆）
坂井市	三國湊の町家活用
勝山市	長尾山総合公園整備

越前市	越前たけふ駅周辺開発
敦賀市	敦賀駅西土地開発事業
美浜町	美浜道の駅整備
小浜市	観光活性化事業

○観光活性化・物販

ふくいヒトモノデザインは「他業銀行業高度化等会社」の許認可を取得した当行の全額出資による地域商社です。

これまで培ってきた地域のネットワークを活用し、福井県内の文化・歴史や観光地を紹介・発信する観光事業、地場特産品の企画・販売や販路拡大などの物販事業を行うことで、地域資源の魅力・価値を高め地域経済の活性化に貢献しています。

○ファンドを活用した取組み

グループ会社である福井キャピタル&コンサルティングが共同もしくは単独で運営するファンドを通じて、出資や優先株引受け等の資金提供のほか、お客さまへのハンズオン支援により地域の活性化やお客さまの成長支援に取り組んでいます。

ふくい未来企業支援ファンド ふくい地域活性化ファンド 現在投資先数	8先
---	----

(2024年3月末)

デジタル社会への対応

当行は、福井県におけるデジタル社会の実現に向け、様々な取組みを進めています。



福井銀行アプリ

○福井銀行アプリの機能拡充

2023年度は以下の機能を拡充しました。

・「スマホATMサービス」

キャッシュカードのかわりに福井銀行アプリを使って全国のセブン銀行ATMで現金の入出金ができる便利な機能です。

・「諸届サービス」

来店せずにキャッシュカード・通帳等の「紛失・盗難」「発見」「再発行」や「住所・電話番号変更」ができる便利な機能です。

今後もお客さまにとって使いやすく、より便利なサービスを提供していきます。

福井銀行アプリ・インターネットバンキング登録数	198,386先
-------------------------	----------

(2024年3月末)

○地域価値共創プラットフォーム「ふくアプリ」

地域のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、福井に暮らす人・福井を訪れた人のウェルビーイングを高めるために、福井新聞社と共同で設立された「株式会社ふくいのデジタル」がスマートフォンアプリ「ふくアプリ」を運営しています。

・「ふくアプリ」活用事業

2023年1月から7月まで、全国旅行支援事業の福井県版「ふくいdeお得キャンペーン」にて電子決済サービスを提供しました。期間中多くの方にご利用いただき、得られた決済データを地域にオープンデータとして提供することで地域の観光事業の高度化に取り組みました。また、2023年2月には武生商工会議所と共同でデジタルクーポン事業を実施し、地域のDXを推進しました。



・福井県デジタル地域通貨・ポイント事業「ふくいはびコイン」

2023年11月から福井県のデジタル地域通貨・ポイント事業「ふくいはびコイン」のプラットフォームに「ふくアプリ」が採用されました。福井県との連携により、ふくアプリ会員登録者、利用可能加盟店が大幅に増加しました。

福井県におけるプラットフォームとして様々な地域のステークホルダーの方たちと連携し、DXを推進することで、地域における価値共創のプラットフォームにふくアプリは進化を続けています。

今後も自治体や各種団体、企業等と連携しながら段階的にサービスを提供していきます。

ふくアプリ会員登録者数	約16万人
利用可能加盟店数	約4,300店舗
全国旅行支援事業期間中利用者	約15万人

(2024年3月末)

○自治体との取組み

地域のデジタル化を推進するため、自治体の協力を得て以下の取組を進めました。

・公金業務のデジタル化

福井県をはじめとする指定金融機関を受託している17自治体の協力を得て、「収納金共通サービス基盤 for クラウドイメージサービス」の提供を開始しました。当行窓口で紙の納付書をスキャナで読み取ると、そのイメージデータを自治体で照会することができるため、納付書の送付や紙の削減、業務の効率化を実現します。

・学費収納等の学校業務に関するデジタル化

福井県内の公立高校を対象として、インターネット口座振替受付サービスの提供を試行しました。口座振替申込が可能な各学校専用のサイトを提供するものであり、これにより学費収納などの申込手続きのための窓口来店が不要となります。また、学校側の事務効率化にもつながります。今後は正式な提供開始を目指します。

「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況

福井銀行は2017年6月に「お客さま本位の基本方針」を策定・公表し、その取組みを確実に実践するため、定期的に取り組状況を検証し、取組方針の見直しや商品・サービスの向上につなげております。

今般、2023年度の取組状況ならびに成果指標について取りまとめましたので、ご報告いたします。

※本資料で公表する数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

お客さま本位の基本方針

Fプロジェクトは、福井銀行・福邦銀行が、それぞれの理念のもと、お客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、『Fプロジェクト「お客さま本位の基本方針」』（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1. お客さま本位の業務運営の堅持

基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2. お客さまの最善の利益の追求

金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3. お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4. お客さまからいただく手数料等の明確化

金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明することに努めてまいります。

5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧にご説明しご提供することに努めてまいります。

6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

お客さまの最善の利益の追求

対応原則:2. お客さまの最善の利益の追求

1. 「お客さまの最善の利益」に対する考え方

- 福井銀行では、10年の長期ビジョン「Fプロジェクト Vision 2032」において『私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し「地域価値循環モデル」を実現します』と掲げており、このビジョンに基づく長期的な取組みが「お客さまの最善の利益の追求」に繋がると考えております。



2. 福井銀行の企業文化としての定着 および

3. 「お客さまの最善の利益」を追求する行動

- 長期にわたる取組みの第一歩として、次世代を担う子どもたちが、将来、責任ある社会の構成員となるために、金融や経済の仕組みを学ぶことが重要であると考え、幅広い年代に対して金融経済教育に関する支援を行っております。
- 日頃、資産形成について考える時間を取ることができない方向けに、お取引いただいている企業の従業員さまを対象として、本部講師による資産形成セミナーを開催した他、営業店講師による小規模セミナーも各地域で開催いたしました。
- 今後も、様々なライフステージに沿ったお客さま向けのセミナーを企画・開催してまいります。

実施内容	対象	実施回数 (2023年度)
金融リテラシーを身につける授業 (生活設計・家計管理・資産運用について学ぶ)他	小学校～大学 ・社会福祉法人	31回
資産形成セミナー (つみたて投資のポイント・NISA・iDeCoについて)他	法人のお客さま の従業員さま	50回

<野村証券との業務提携>

- 2023年5月、野村証券株式会社との金融商品仲介業務に関する包括的業務提携を締結し、野村証券の商品やサービスのご提供を開始しております。
- 本提携の目的は、福井県内に強固な顧客基盤を有する福井銀行と、金融商品取引業務に関する豊富なノウハウや商品ラインナップを有する野村証券が、双方の強みを最大限に活かして発揮することで、人生100年時代への備えや次世代への資産承継等のアドバイスを通じて、地域のお客さまの豊かな生活や資産形成を持続的に支援していくことです。
- 本提携に合わせ、野村証券からの出向者と福井銀行職員が協働でコンサルティングのご提供を行う、資産運用相談専門拠点「コンサルティングプラザ」の営業を開始いたしました。(県内4か所)



FUKUI × NOMURA
alliance



4. お客さまからの声の収集・活用

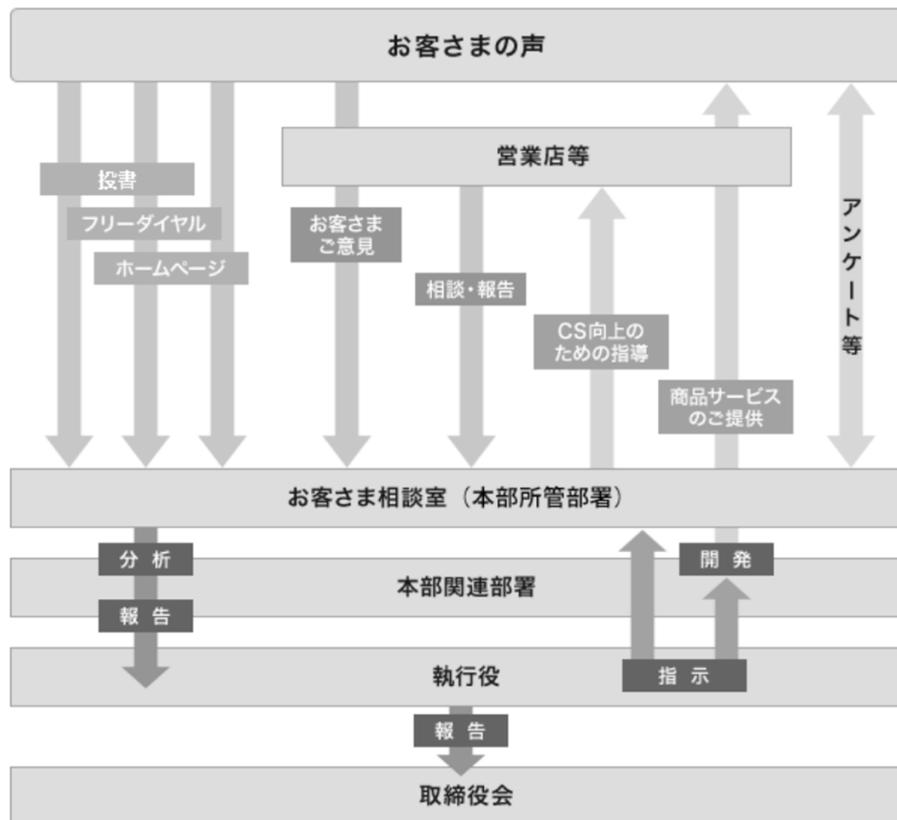
- 福井銀行では、営業店・お客さま相談室フリーダイヤル・ホームページ等に寄せられた、苦情・ご意見・ご要望を行内にて共有しております。そのうえで適切かつ迅速に改善に取り組む体制を整備しており、本部では、お客さま本位の業務運営の実践状況を定期計測し、取組みに対する課題の把握と改善に向けた施策を立案・実行しております。
- 上記の具体的な活動としては、毎月、アセットコンサルティンググループ(※1)とコンプライアンス統括チーム(※2)にて、お客さまから寄せられる声の共有を図りながら対話を実施しております。また、アセットコンサルティンググループが主催する「顧客管理委員会(※3)」などに本部関係部署が参加することで、販売態勢の検証を多面的な目線で行っております。

(※1)資産形成・資産運用のご相談窓口を有するコンサルティングプラザおよびお客さまの取引の管理やモニタリング等を行っている本部が所属するグループ

(※2)当行グループの顧客保護等管理体制の統括的かつ横断的な管理を行う本部部署

(※3)お客さまに対し適切にご提案が行われているか、勧誘・販売状況を検証・議論し、事例の共有とともにリスク管理の重要性を浸透することを目的として毎月開催しております。

【お客さまの声を活かす体制】



- お客さま本位の業務運営の実践とモニタリング・改善を通して、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するように引き続き努めてまいります。

お客さまにふさわしいサービスの提供

対応原則:6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

1-(1).「そだてる」ニーズ および

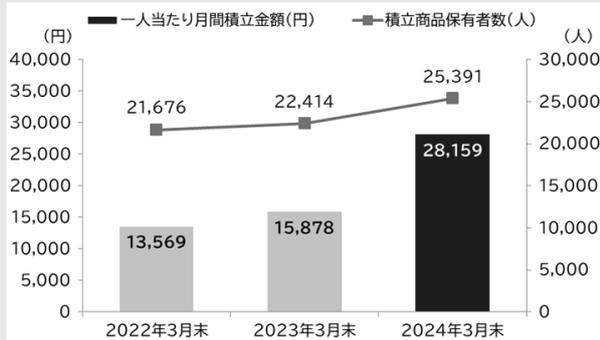
1-(2).「ふやす」ニーズをもつお客さまへのサービス

- お客さまからお聴きした情報やお考えをもとに各種シミュレーションを行い、お客さまにとって最適な資産運用方法のご提示をしております。

成果指標

一人当たり月間積立金額および積立商品保有者数の推移

- ✓ お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えすべく、各種積立商品のご提案に努めた結果、積立商品を保有されているお客さまおよび将来に向けての積立金額は増加しております。

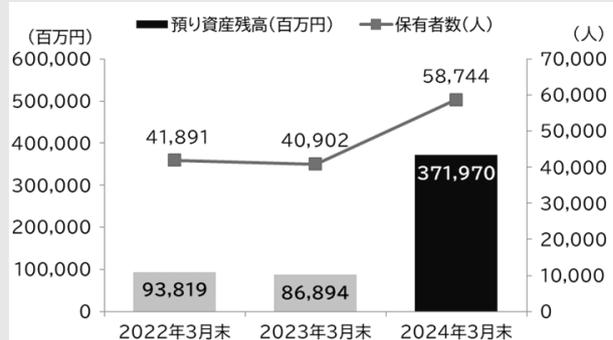


※積立商品・・・定期購入する投資信託・外貨預金(法人除く)

成果指標

預り資産残高および保有者数の推移

- ✓ 野村証券株式会社との業務提携後、資産運用商品を保有されているお客さまおよび預り資産残高は増加しております。

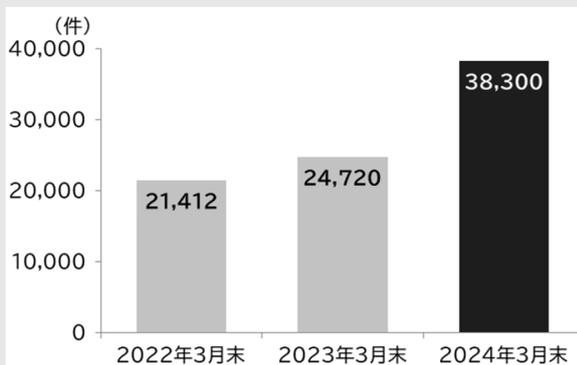


※預り資産・・・金融商品仲介取引、外貨預金(法人除く)

成果指標

NISA口座数

- ✓ 資産形成のご提案を行うにあたり、投資枠から得られた利益に対して税金が非課税になる制度『NISA』をおすすめした結果、NISA口座数は年々増加しております。

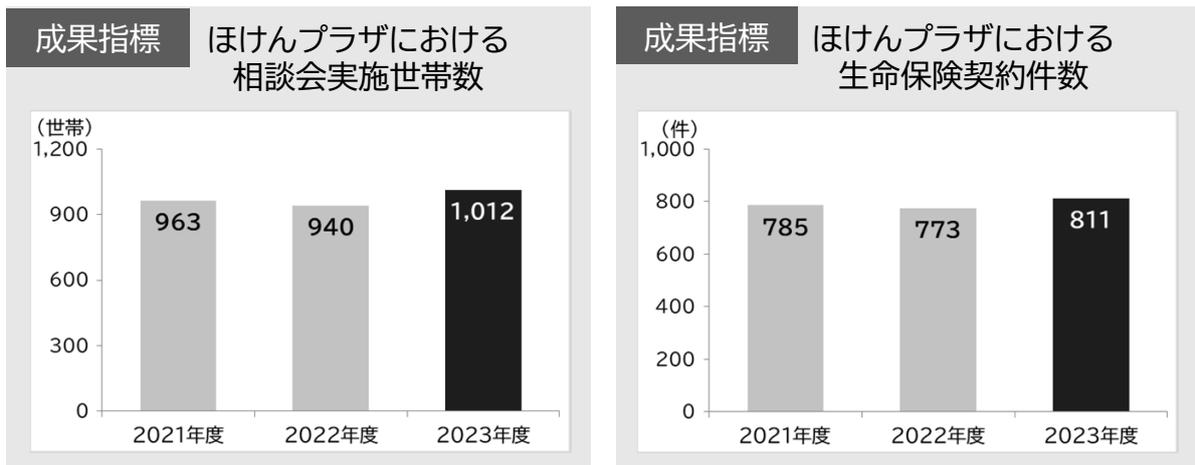


- 野村証券株式会社との業務提携に伴い、野村証券福井支店のお客さまの口座およびお預り残高がプラスされました。
- 2023年11月に福井銀行の証券顧客口座を野村証券金融商品仲介口座へ移管する直前である2023年10月末時点の福井銀行証券口座における各成果指標は以下の通りです。(法人除く)

- 一人当たり月間積立金額: 16,822円
- 積立商品保有者数: 22,291人
- 預り資産残高: 83,299百万円
- 保有者数: 49,039人
- NISA口座数: 27,734件

1-(3). 「そなえる」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 土日祝日も営業している保険相談専門拠点「ほけんプラザ」にて、高度な専門知識・経験を有する職員が、複数回のご面談を通してライフステージを共有し、お客さまのライフステージに応じて起こりうる病気やケガ・不慮の事故・介護・就労不能などの様々な健康リスクに対し、保険の仕組みや必要性、シミュレーションを用いた必要保障金額をお客さまと確認し、ご意向に沿ったオーダーメイドでの保険商品のご提案を行いました。
- 相談会の実施世帯数および生命保険契約件数は共に増加し、多くのお客さまに「相談してよかった」「納得感のある話し合いや契約ができた」等のお声をいただきました。



1-(4). 「のこす」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 資産運用相談専門拠点「コンサルティングプラザ」の職員が、お客さまの財産・ご家族状況・のこしたい思い等をお伺いし、お客さまの思いを形にする解決策のご提案や、お客さまがお気づきでなかった潜在的な課題・お悩みの解決を行いました。
 - 不動産・自社株式等をお持ちのお客さまへは、コンサルティングプラザの職員の中でもより専門的かつ広範な知識を有する「ハートフルパートナー」がコンサルティングをさせていただき、必要に応じて税理士・専門部署と連携しながら課題解決のお手伝いをいたしました。
- ✓ 2023年度は、ご相続に関するご相談受付・ご提案を1,596先のお客さまへ行い、下記のご契約とご紹介につながりました。

商品	終身保険	贈与保険	介護保険	ラップ信託
契約件数	564件	92件	67件	14件
契約金額	2,836百万円	832百万円	431百万円	461百万円

商品	遺言信託	遺産整理	民事信託
紹介件数	9件	7件	2件

2. 商品のラインナップ整備

- お客さまのニーズやご意向に沿ったご提案を行うことを目的として、福井銀行の販売基準を設けたうえで、野村証券の豊富なラインナップを取り扱いしております。
- また、ご提案内容がお客さまの最善の利益につながる提案であったかを検証し、組織的にPDCAを回す体制としております。

【証券業務における商品ラインナップ】

- ✓ 2023年5月より、金融商品仲介業務における包括的業務提携先である野村証券株式会社の幅広い商品・サービスラインナップをご提供することにより、お客さまの多様な運用ニーズにお応えしております。

商品区分	商品カテゴリ
株式	国内上場株式、IPO(株式公開)、PO(公募・売出)、外国株式、ETFなど
債券	国債、社債、個人向け国債、外国債券など
投資信託	低コストインデックス、バランス型ファンド、アクティブファンド、ESG投資など
投資一任	野村ファンドラップ、野村SMA、ラップ信託

【生命保険業務における商品ラインナップ】

- ✓ 生命保険固有の機能である「保障」の拡充を軸に、万一の時への備え、病気やケガでの入院時の備え、介護への備え、就業不能への備え、三大疾病への備え、相続対策など、幅広い商品ラインナップを取り扱い、ライフステージに応じたお客さまの様々な保障ニーズにお応えしております。

3. お客さまへふさわしい商品・サービスを提供するためのシステム

- お客さまとの対話を通じて、ライフステージや経験・お考えをお伺いし、各種資産設計ツールも活用しながら、お客さまにふさわしいサービスのご提供に努めております。

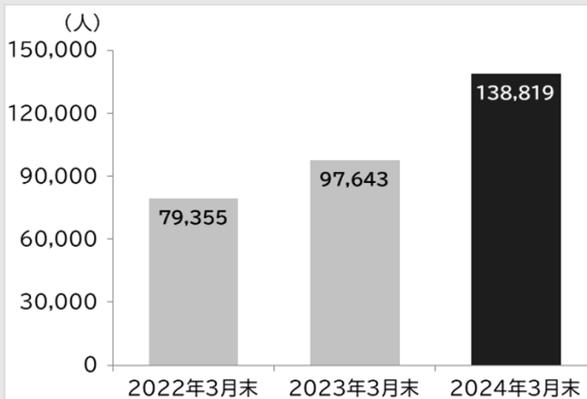
資産設計ツール	シミュレーション内容
ライフプランシミュレーション	お客さまの収入・支出・家族構成・ライフイベント・将来への準備に対するお考えをもとに、お客さまにとって最適な資産運用方法(お金の目的別に分ける)をご提示いたします。
資産配分シミュレーション	お客さまのリスク許容度・相場見通しに沿った最適な資産配分をご提示いたします。
相続シミュレーション	お客さまの財産・ご家族状況・残したい想いをもとにお客さまにとって最適な相続方法をご提示いたします。
ライフデザインシミュレーション	家族構成・資産状況・保険を必要とする背景も含めた意向の確認を行ったうえで、将来の人生設計と思いがけない事故・病気・ケガなどのリスクについて社会保障制度の仕組みを踏まえたシミュレーションを行い、オーダーメイドでのご提案を行います。

- 証券取引においては、お客さまのご希望に応じて、対面やネットでのお取引に加え、通話録音システムによりお電話でのお取引もいただけるようになりました。
- 「野村の資産運用アプリ NOMURA」では、野村証券金融商品仲介口座の保有資産状況をご確認いただける他、マーケット情報のご提供も行ってまいります。
- 「福井銀行アプリ」から、「コンサルティングプラザ」や「ほけんプラザ」等の各種相談専門拠点の来店予約ができる他、「野村の資産運用アプリ NOMURA」へもアクセスが可能です。

チャンネル	概要説明
コンサルティングプラザ	資産運用・資産形成に関するご相談窓口。福井・武生・坂井・敦賀に4拠点を設置。お電話による購入・売却などのお取引も可能です。
ほけんプラザ	保障の見直し・確認等に関するご相談窓口。福井・鯖江・敦賀に3拠点を設置し、土日祝日も営業。
各種コールセンター	野村証券の仲介口座専用のコールセンターや土日にもつながるオンラインサービス専用のコールセンター。
野村証券 オンラインサービス	野村証券の仲介口座における各種取引(売買、取引履歴照会、商品詳細確認など)をスマホやWEBでいつでも行えるサービス。
野村の資産運用アプリ NOMURA	保有資産状況の確認でき、マーケットニュースを入手できるアプリ。
福井銀行アプリ	野村証券アプリにアクセスできるほか、コンサルティングプラザやほけんプラザの来店予約も可能なアプリ。

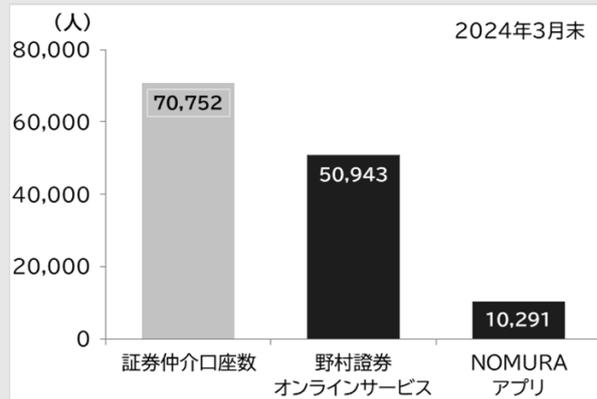
成果指標 福井銀行アプリ利用者数

✓ 随時利便性向上のためのリニューアルを行っており、利用者数は年々増加しております。



成果指標 野村証券オンラインサービスおよびアプリ利用者数

✓ 野村証券との業務提携後、オンラインでの証券取引等は「野村の資産運用アプリ NOMURA」や「野村のオンラインサービス」をご利用いただいております。



4. お客さまへのアフターフォロー活動

- タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを積極的に実施し、きめ細かな対話を通じて、お客さまの資産形成や資産運用のご意向に対する理解をより深めていくことに努めております。
- アフターフォロー活動は、投資信託や生命保険等、価格変動を伴う商品をお持ちのお客さまに対し、あらかじめ定めた基準により定期的に行っております。

【サンクス(for未来)活動】

- 2022年11月より2023年11月まで、福井銀行にて証券口座をお持ちのお客さまを対象に、「サンクス(for未来)活動」を行いました。
- 本活動の目的は、野村証券株式会社との業務提携を前に、お客さまの大切なご資産を提携後も継続してお預り・コンサルティングさせていただくため、業務提携に関するご説明を行い、野村証券株式会社への証券口座移管後もお取引を続けていただくことへの感謝をお伝えすることです。
- 本活動に合わせて、証券取引に限らず、生命保険等も含めたリスク性商品について、アフターフォローを行いました。
- 野村証券への証券口座移管後も、お取引方法の変更等のご案内とともに、お預りしているご資産についてのフォローを引き続き行っております。

	証券口座をお持ちのお客さまのうち 対話を行った人数
2022年度	29,039人
2023年度	38,947人

- 本活動の結果、96%のお客さまに野村証券金融商品仲介口座へ移管いただくことができました。

従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

対応原則：7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

- 職員一人ひとりが「お客さまのために一生懸命に取り組むことで、働きがい・成長を実感できる」人財となることを目指し、研修・教育・評価を充実させております。
- 2023年度においては、業務経験やスキルに応じ、マーケットや商品サービスについての知識を深めコンサルティング力を高めるためのロールプレイングを多く交えた研修を実施いたしました。
- 「お客さま本位の業務運営」を実践するため、基本方針や取組方針について、各種研修にて職員へ背景も含めた考えや実践内容の共有を行ったほか、行内通達にて周知を行ってまいりました。

研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 新入行員研修(対象者:1年目行員) ※ :約 40名受講 ● 営業基礎研修(対象者:2年目行員) ※ :約 30名受講 ● 営業店担当者向け研修 :約140名受講 ● コンサルティングプラザ担当者向け研修 :約120名受講
自己啓発	平日勉強会、動画配信等

※新入行員研修・営業基礎研修カリキュラム一例

- ✓ お客さま本位の業務運営とは
- ✓ 資産形成・資産運用はなぜ必要なのか
- ✓ 運用のポイントを知ろう
- ✓ 運用商品の違いを知ろう
- ✓ 資産運用・資産形成の必要性を分かりやすく伝えよう

- 福井銀行では、お客さまへの最適な金融サービスの提供を目指し、専門知識の水準を向上させ、お客さまの資産形成に寄与することができる人財を育成しており、2018年4月より、お客さまへの営業力強化に繋げていくためのサポート体制のひとつとして、資格試験の「合格祝金支給制度」を設けております。

重要な情報の分かりやすい提供、手数料等の明確化

対応原則:5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供
 対応原則:4. お客さまからいただく手数料等の明確化

1. 重要な情報の分かりやすい提供

- お客さまへのご提案にあたっては、お客さまが様々な金融商品・サービスを比較検討できるよう丁寧な情報のご提供に努めております。

【重要情報シートの活用】

- ✓ お客さまへの簡潔な情報提供と、商品の比較を容易にいただけるツールとして、商品のリスクや手数料等の重要な情報を簡潔に記載した、重要情報シートを活用しております。
- ✓ 現在、金融事業者編・生命保険の個別商品編・外貨定期預金(為替特約付)の個別商品編・一部金融商品仲介の個別商品編の使用を行っております。

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」(金融事業者編)

福井銀行

1. 当行の基本情報 (当行がお客さまに金融商品の販売または販売仲介するものです)

社名	株式会社 福井銀行
登録番号	北陸財務局長(登金)第2号
加入協会	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.fukui-bank.co.jp

2. 取扱商品 (当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

預金 (投資性なし)	○	預金 (投資性あり)	○
国内株式	○(※)	外国株式	○(※)
円建債券	○(※)	外貨建債券	○(※)
特殊な債券 (仕組債等)	○(※)	投資信託	○(※)
ラップ口座	○(※)	ETF・ETN	○(※)
REIT・インフラファンド	○(※)	その他の上場商品	○(※)
保険 (投資リスクなし)	○	保険 (投資リスクあり)	○

上記以外の商品 遺言信託、iDeCo等もご案内しております。

3. 商品ラインナップの考え方 (商品適定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

福井銀行では、お客さまの中長期的な資産形成・資産運用を実現する商品・サービスをご用意し、お客さまにとって最適な利益となり、多様なニーズにお応えできるよう努めてまいります。

証券業務においては、金融商品仲介業務における包括的業務提供先である野村證券の豊富なラインナップを取り扱うことにより、お客さまの様々な運用ニーズにもお応えしてまいります。

「お客様カード」の活用やお客さまとの会話の中で、お客さまのご投資知識、ご投資経験、ご投資意向、お持ちの金融資産状況、ご収入状況等を丁寧に伺い、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。

4. 苦情・相談窓口

当行のお客さま相談窓口 (お客さま相談室) (※1)	0120-291-011
加入協会共通の相談窓口 ※1	証券・金融あつせん相談センター 0120-64-5005 生命保険協会・生命保険相談所 03-3286-2648
金融庁金融サービス利用者相談室(※2)	0570-016811 または 03-5251-6811

(※1)受付時間：平日 9:00~17:00 (祝日および銀行休業日を除く) (※2)受付時間：平日 10:00~17:00

2023年11月13日現在

(P-0001) 2023.11(2)版

重要情報シート (個別商品編) 使用開始日: 2024年01月12日

外貨定期預金 (為替特約付) 愛称: ふくぎんセレクト

1. 商品等の内容

金融商品の名称・種類	外貨定期預金 (為替特約付) 愛称: ふくぎんセレクト
販売会社 (販売元)	株式会社 福井銀行
販売委託先	-
金融商品の目的・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 外貨定期預金に為替特約 (為金連動型) を組み合わせることで、一定範囲内の円高リスクを軽減しつつ、円ベースでの高利回りを目指す商品です。 ● 為替相場変動により、満期時のお受取り通貨が円となる場合、外貨となる場合があります。 ● 円高での受取となった場合、円安メリット (為替差益) を受けられません。 ● 円安での受取となった場合、円ベースでは元本割れとなる可能性があります。 ● リスクの詳細は、後掲「2. リスクと運用実績」に記載いたします。
商品構成に關する事項が異なる購入層	<ul style="list-style-type: none"> ● 短期間の取引で通常の円安定期預金よりも高い利回りを狙います。 ● 外貨預金での運用に興味はあるが、一定の為替変動リスクを軽減した商品をお考えの方。 ● 一定範囲を超えた為替変動による元本割れリスクを許容できる非熟練投資家の方。 ● 円高での受取となった場合でも円高リスクを軽減できる非熟練投資家の方。 ● 満期まで本商品を保有しただけの方 (原則として満期日前に解約することはできません)。 ● 本商品は一定の為替変動リスク (円高リスク) を回避することができますが、通常の外貨預金と異なり為替差益 (円安メリット) を得ることはできません。為替差益を享受したいお客さまには不向きな商品です。
パッケージの名称	外貨定期預金と為替特約を組み合わせた商品です。為替特約を個別の金融商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ (契約日から一定期間、解除できる仕組み) の適用はありません。

2. リスクと運用実績 (本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容

- 為替相場の変動による影響を受けます。損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【商品説明書】P4「為替変動リスク」に記載しています。
- 円高での円安となった場合、購入相場での円安となり、円安による為替差益を得ることができません。
- 円高での円安となった場合、外貨普通預金へ入金されます。その後、お受取りの外貨を円に換える際には、為替相場 (1円換) 次第でお受取り時の円高リスクを下回る (円安) のリスクがあります。
- 本商品は原則中途解約ができません。
- 本商品は預金保険の対象ではありません。

【※】 最大想定損失額

2013年1月~2022年12月の購入期間毎の最大相場変動率から想定される損失額は以下の通りとなります。
 ※想定損失額は100万円相当額の外貨をお預入れいただいた場合で記載しております。
 ※為替手数料等の諸費用は別表としております。

購入期間: 2ヶ月	最大相場変動率: 11.98%の円高	想定損失額: 120万円
購入期間: 6ヶ月	最大相場変動率: 15.67%の円高	想定損失額: 157万円

【※】 外貨払戻率

第1回 (2016年6月) から第6回 (2023年9月) 募集期間において、外貨で払戻となった総戻付額 (割合): 32回 (14.5%) (総戻付額: 200万円)
 ※ 外貨払戻率は、あくまで参考情報であり組成条件によって異なります。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
 ・上記の損失リスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

2. 手数料についての分かりやすい説明

- 手数料に関しましては、契約締結前交付書面や目論見書等でご確認いただけるように努めております。金融商品のご提供に際し、購入時手数料や信託報酬等の計算式や概算金額をお示しするなど、分かりやすい説明を行うよう努めております。

利益相反の適切な管理

対応原則:3. お客さまの最善の利益の優先の確保

- お客さまへ金融商品・サービスをご提供するにあたっては、お客さまの利益を不当に害することのないよう、利益相反状況を「利益相反管理規程」に基づき適切に管理しております。
- 様々な投資運用会社や保険会社等からご提案商品を採用し、特定の会社や商品に偏ることのないよう努めております。
- なお、当行ではお客さまへの販売商品を組成・供給する部門やグループ会社等を有していないため、当行グループのために特定の商品販売することはありません。

※投資信託および生命保険(一時払商品・平準払商品)における、商品種類ごとの販売額上位10商品とその販売シェアは次の通りです。

2023年度(投資信託販売状況)

	ファンド名称	委託会社	販売シェア
1	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	6.5%
2	【ネット専用】ニッセイ日経225インテックスファンド	ニッセイアセットマネジメント	6.0%
3	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バーンスタイン	5.3%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンス・バーンスタイン	5.2%
5	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	5.0%
6	野村HD社債/システムティック・G・マクロ戦略F2401	T&Dアセットマネジメント	3.0%
7	キャピタル世界株式ファンド	キャピタル・インターナショナル	2.8%
8	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)	野村アセットマネジメント	2.6%
9	ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズンB 為替ヘッジなし	ティー・ロウ・プライス・ジャパン	2.4%
10	GSワールド・シフト株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	2.4%

2023年度（生命保険販売状況：一時払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	プレミアプレゼント3(外貨建)	第一フロンティア生命	23.3%
2	たのしみグローバルⅢ(円建)	住友生命	18.4%
3	プレミアカレンシー3(外貨建)	第一フロンティア生命	10.9%
4	やさしさ、つなぐ2(外貨建)	三井住友海上プライマリー生命	6.3%
5	やさしさ、つなぐ2(円建)	三井住友海上プライマリー生命	5.9%
6	はじめての介護(外貨建)	ニッセイ・ウェルス生命	5.3%
7	ロングドリームGOLD3(外貨建)	日本生命	5.1%
8	プレミアプレゼント3(円建)	第一フロンティア生命	4.7%
9	しあわせ、ずっと3(外貨建)	三井住友海上プライマリー生命	4.2%
10	プレミアカレンシー3(円建)	第一フロンティア生命	3.7%

2023年度（生命保険販売状況：平準払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	新メディフィットA	メディケア生命	27.0%
2	健康をサポートするがん保険 勇気のお守り	SOMPOひまわり生命	11.2%
3	新メディフィットPlus	メディケア生命	7.1%
4	ネオdeいりょう	ネオファースト生命	5.9%
5	ネオdeしゅうほ	ネオファースト生命	5.9%
6	ニッセイみらいのカタチ養老保険	日本生命	5.0%
7	じぶんと家族のお守り	SOMPOひまわり生命	3.7%
8	終身保険RISE	オリックス生命	3.5%
9	こだわり個人年金(外貨建)	マニユライフ生命	3.4%
10	健康をサポートする医療保険 健康のお守り	SOMPOひまわり生命	2.6%

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

お客さまが投資信託およびファンドラップを提供する金融事業者を選ぶにあたり、比較することのできる3つの指標(共通KPI※)を公表いたします。

※KPI:Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標のことで、目標の達成に向けた行動や成果を評価するための指標。

1. 運用損益別お客さま比率

基準日時点において投資信託またはファンドラップを保有しているお客さまについて、保有投資信託またはファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示したものです。

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

3. 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、基準日時点の銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

● 共通KPIの算出方法

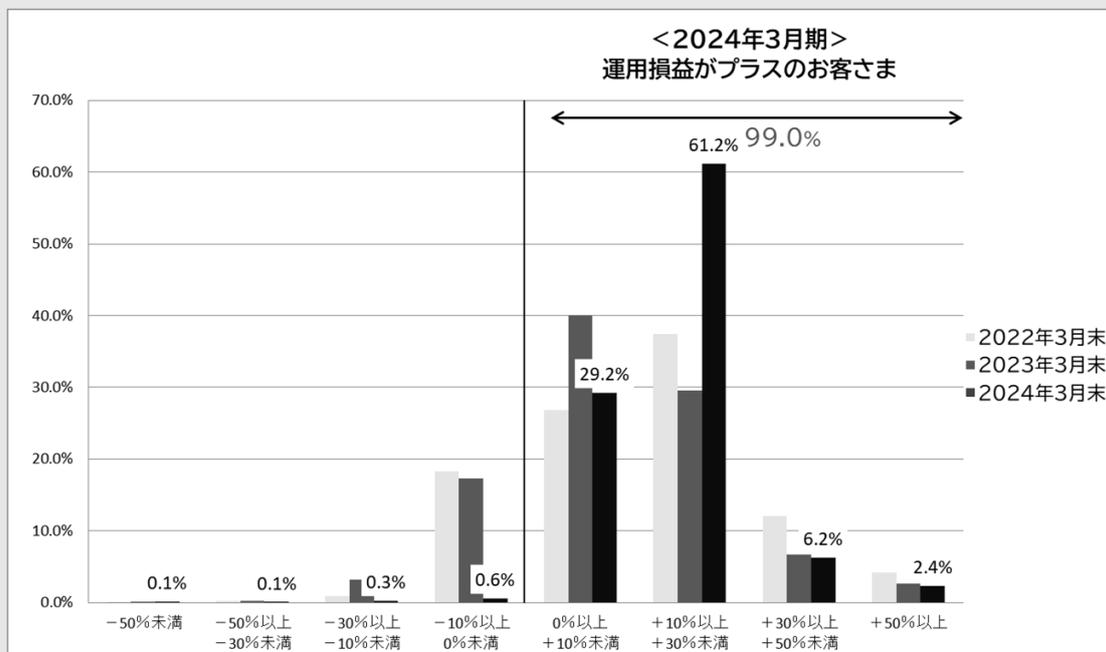
コスト	販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

1. 運用損益別お客さま比率

✓ 2024年3月末時点における投資信託の運用損益がプラスのお客さまの比率は99.0%、ファンドラップの運用損益がプラスのお客さまの比率は91.4%です。

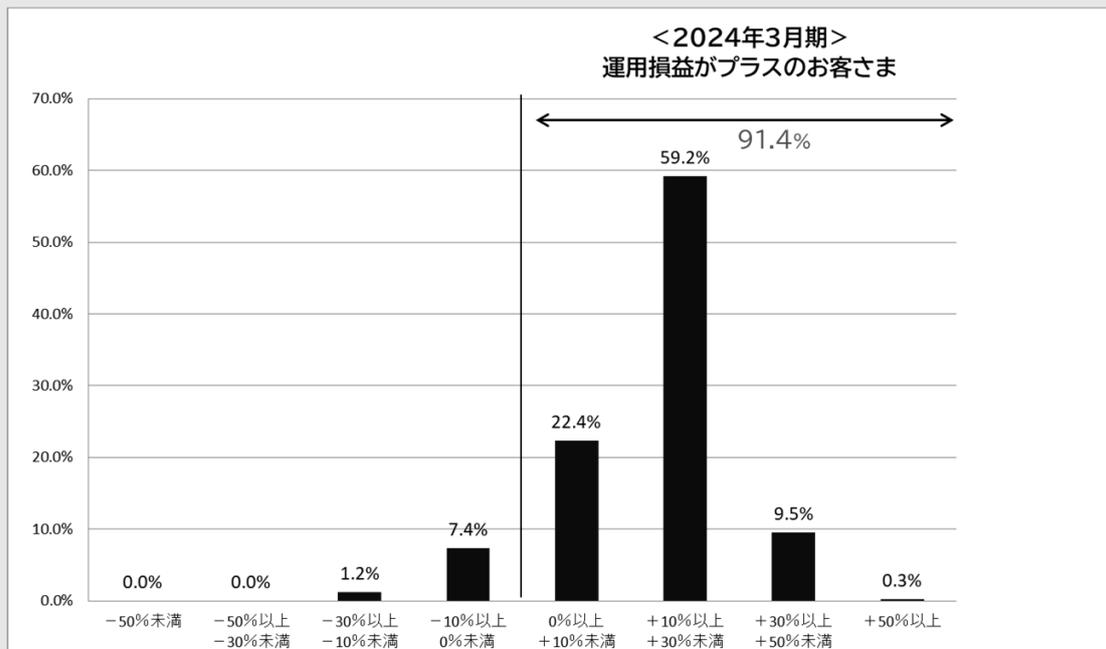
◆ 投資信託の運用損益別お客さま比率

<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>



◆ ファンドラップの運用損益別お客さま比率

<2024年3月末基準>



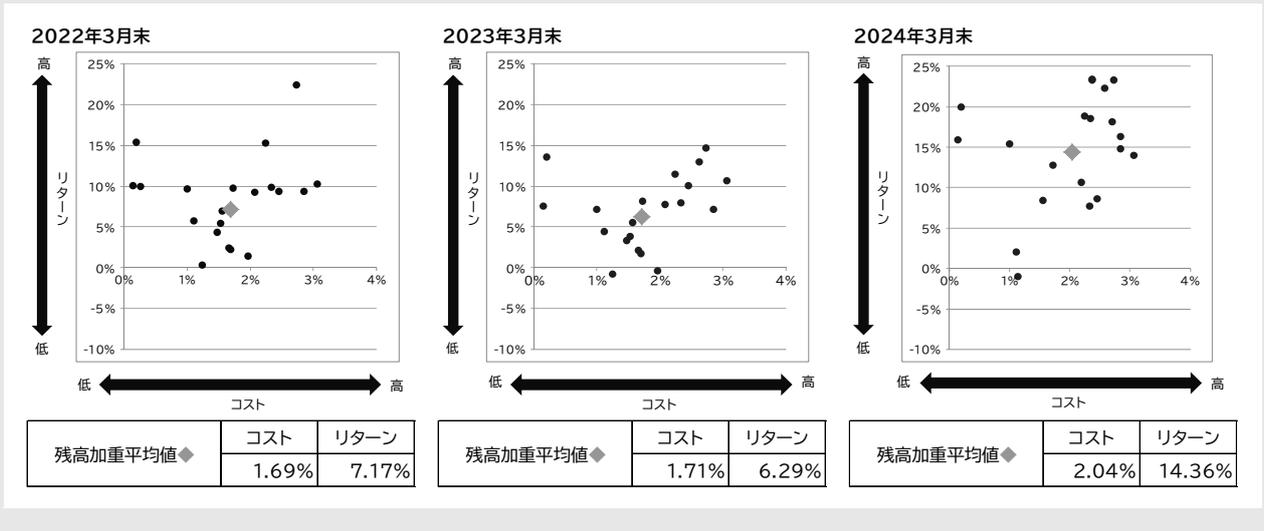
2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

3. 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ✓ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コストは2.04%(前期比+0.33%)、平均リスクは16.99%(前期比+2.84%)、平均リターンは14.36%(前期比+8.07%)です。

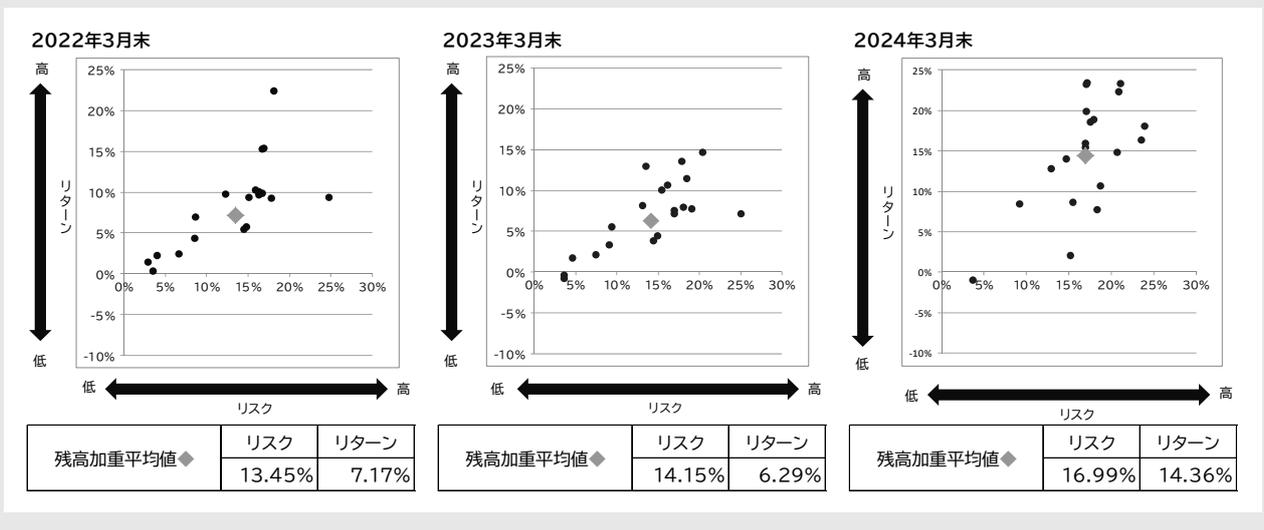
◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>



◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>



◆預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

<2024年3月末基準>

No.	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
2	野村インド株投資	2.86%	20.75%	14.72%
3	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.12%	15.30%	1.96%
4	新光US-REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
5	のむらップ・ファンド(普通型)	1.57%	9.29%	8.36%
6	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
7	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	2.39%	17.29%	23.28%
8	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
9	キャピタル世界株式ファンド	2.36%	17.61%	18.46%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	21.15%	23.19%
11	iFree日経225インデックス	0.15%	17.03%	15.84%
12	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.20%	18.82%	10.56%
13	高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	2.71%	24.04%	17.98%
14	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	15.57%	8.52%
15	のむらップ・ファンド(積極型)	1.74%	12.98%	12.68%
16	次世代米国代表株ファンド	2.26%	18.07%	18.78%
17	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.01%	22.19%
18	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.14%	3.81%	-1.10%
19	iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	17.19%	19.81%
20	HSBCインドオープン	2.86%	23.67%	16.23%

外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

お客さまが外貨建一時払保険を提供する金融事業者を選ぶにあたり、比較することのできる2つの指標を公表いたします。

1. 運用評価別お客さま比率

基準日時点において外貨建一時払保険を保有しているお客さまについて、契約毎の運用評価を算出し、運用評価別にお客さまの比率を示した指標です。

2. 銘柄別コスト・リターン

保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点で有効であるもの)のうち、残高(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額の合計額)上位20銘柄について、基準日時点の銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

● 共通KPIの算出方法

コスト	<p>① 各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出 ただし、個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な契約の手数料率は、保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点で有効であるもの)を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均した値を使用</p> <p>② 各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均</p>
リターン	<p>① 各契約のリターン率について、(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算</p> <p>② 各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均</p>

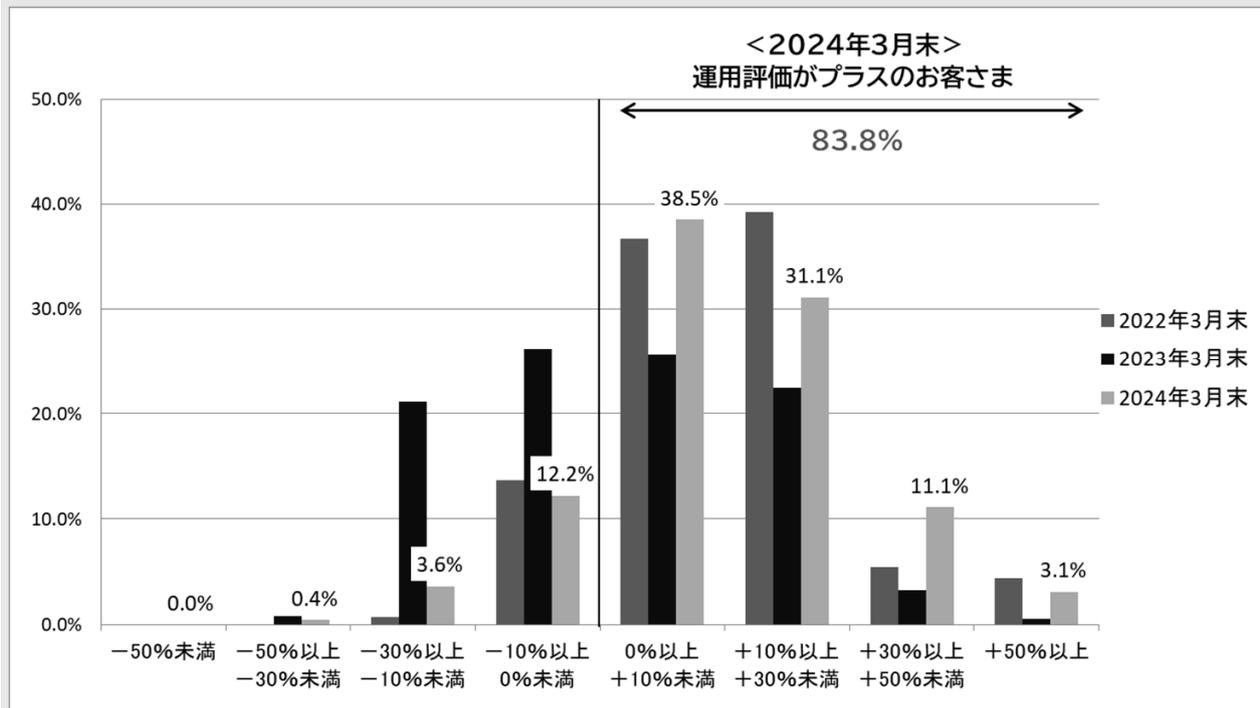
- ✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

1. 運用評価別お客さま比率

✓ 2024年3月末時点における運用評価がプラスのお客さまの比率は83.8%です。

◆ 外貨建一時払保険の運用評価別お客さま比率

<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>

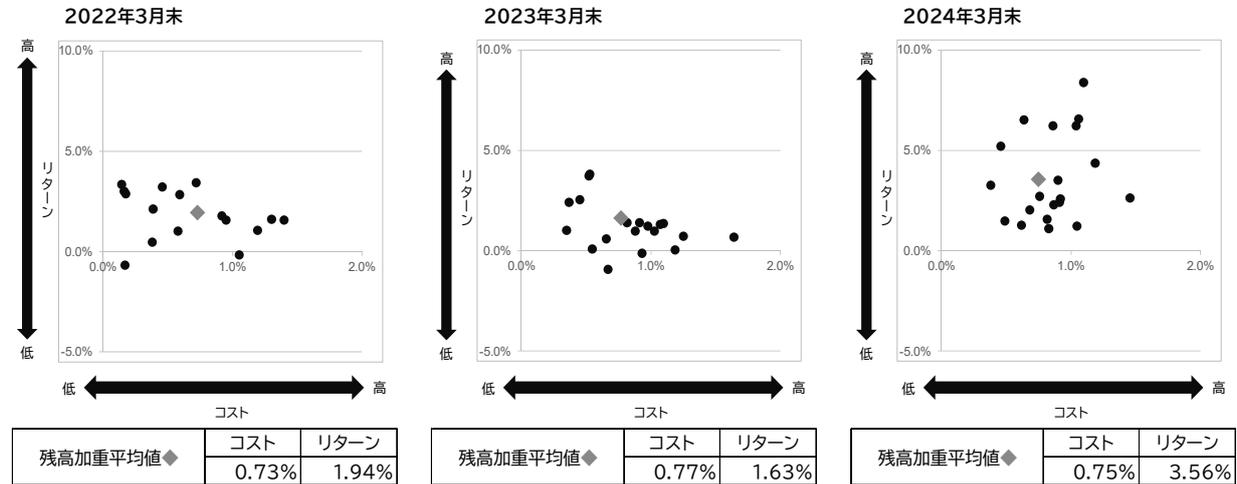


2. 銘柄別コスト・リターン

✓ 2024年3月末時点における残高加重平均コストは0.75%、残高加重平均リターンは3.56%です。

◆外貨建保険の残高上位20銘柄

< 2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準 >



◆預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

< 2024年3月末基準 >

No.	銘柄名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.62%	1.27%
2	プレミアプレゼント	0.90%	3.51%
3	ファイブ・ステップUS	0.46%	5.21%
4	夢のプレゼント	0.64%	6.51%
5	プレミアカレンシー・プラス2	0.68%	2.03%
6	ロングドリームGOLD2	1.04%	6.21%
7	しあわせ、ずっと	1.19%	4.36%
8	ライフロング・セレクトPG3	0.76%	2.73%
9	ロングドリームGOLD	0.82%	1.56%
10	アドバンテージ・セレクトPG	0.49%	1.49%
11	生涯プレミアムワールド4	0.87%	2.29%
12	デュアルドリーム	1.46%	2.64%
13	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.91%	2.40%
14	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.05%	1.22%
15	外貨建エブリバディプラス	0.86%	6.23%
16	たのしみグローバル(定率)	1.06%	6.54%
17	プレミアジャンプ	0.83%	1.12%
18	アドバンテージ2	0.38%	3.26%
19	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.92%	2.57%
20	たのしみグローバル(指数)	1.10%	8.37%

店舗等のご案内 (2024年7月末日現在)

福井銀行の本支店窓口は、平日午前9時から午後3時の営業となっております。(12月31日～翌年1月3日を除く)

※一部店舗では昼休業を実施しております。

福井県		住所・電話番号
店番	本店エリア	住所・電話番号
100	本店営業部	〒910-8660 福井市順化1丁目1番1号 TEL (0776) 24-2030
128	福井市役所支店	〒910-0005 福井市大手3丁目10番1号 TEL (0776) 24-7600
136	県庁支店	〒910-0005 福井市大手3丁目17番1号 TEL (0776) 21-8552

福井東エリア		住所・電話番号
101	福井中央支店	〒918-8239 福井市成和1丁目1010番地 TEL (0776) 25-7000
121	東郷支店 (福井中央支店店舗内)	
323	美山支店 (福井中央支店店舗内)	
109	さくら通り支店	〒910-0851 福井市米松1丁目1番1号 TEL (0776) 23-8545
112	勝見支店	〒910-0854 福井市御幸2丁目10番14号 TEL (0776) 23-3322
139	板垣支店	〒918-8104 福井市板垣4丁目808番地 TEL (0776) 34-3441

福井西エリア		住所・電話番号
104	花月支店	〒910-0021 福井市乾徳4丁目4番1号 TEL (0776) 23-8547
141	花月支店学園出張所 (花月支店店舗内)	
146	飯塚支店 (花月支店店舗内)	
131	文京支店	〒910-0017 福井市文京3丁目23番8号 TEL (0776) 24-1331

福井南エリア		住所・電話番号
114	木田支店	〒918-8004 福井市西木田2丁目4番6号 TEL (0776) 36-1240
116	橋南支店 (木田支店店舗内)	
115	花堂支店	〒918-8012 福井市花堂北2丁目10番8号 TEL (0776) 36-3249
123	今市支店 (花堂支店店舗内)	
144	種池支店	〒918-8031 福井市種池2丁目603番地 TEL (0776) 34-2131
133	清水町支店 (種池支店店舗内)	

福井北エリア		住所・電話番号
106	松本支店	〒910-0004 福井市宝永3丁目34番15号 TEL (0776) 22-5230
105	田原町支店 (松本支店店舗内)	
138	新保支店 (松本支店店舗内)	
117	森田支店	〒910-0157 福井市八重巻東町12番2 TEL (0776) 56-0033
125	大和田支店	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 TEL (0776) 54-6702
127	中央市場支店 (大和田支店店舗内)	
147	経田支店	〒910-0015 福井市二の宮2丁目14番10号 TEL (0776) 21-9677
134	花月支店新田塚出張所 (経田支店店舗内)	

鯖江エリア		住所・電話番号
200	鯖江支店	〒916-0027 鯖江市桜町2丁目2番36号 TEL (0778) 51-2280
204	住吉支店 (鯖江支店店舗内)	
203	河和田支店	〒916-1221 鯖江市西袋町39号1番地の3 TEL (0778) 65-1555
207	東鯖江支店	〒916-0041 鯖江市東鯖江2丁目7番23号 TEL (0778) 51-8581

住所・電話番号		
202	神明支店	〒916-0021 鯖江市三六町2丁目403番1号 TEL (0778) 51-2270

丹生エリア		住所・電話番号
211	朝日町支店	〒916-0141 丹生郡越前町西田中18号2番地2 TEL (0778) 34-0456
212	織田支店 (朝日町支店店舗内)	
213	越前町支店 (朝日町支店店舗内)	

武生エリア		住所・電話番号
220	武生支店	〒915-0074 越前市蓬萊町1番1号 TEL (0778) 23-3111
223	武生西支店	〒915-0841 越前市文京2丁目3番26号 TEL (0778) 22-2780
228	武生南支店 (武生西支店店舗内)	
227	村国支店	〒915-0084 越前市村国2丁目10番28号 TEL (0778) 24-0663
229	武生北支店	〒915-0805 越前市芝原3丁目6番33号 TEL (0778) 22-8851

今立エリア		住所・電話番号
234	今立支店	〒915-0242 越前市粟田部町11番19番2 TEL (0778) 43-0880
225	味真野支店 (今立支店店舗内)	
235	岡本支店 (今立支店店舗内)	

南条エリア		住所・電話番号
232	南条支店	〒919-0223 南条郡南越前町東大道32号18番地の1 TEL (0778) 47-3050
231	河野支店 (南条支店店舗内)	
233	今庄支店 (南条支店店舗内)	

高志エリア		住所・電話番号
122	松岡支店	〒910-1132 吉田郡永平寺町松岡葵2丁目103番地 TEL (0776) 61-1200
143	福井医大支店 (松岡支店店舗内)	
322	永平寺支店	〒910-1212 吉田郡永平寺町東古市12号60番地の1 TEL (0776) 63-3220
321	上志比支店 (永平寺支店店舗内)	

奥越エリア		住所・電話番号
300	大野支店	〒912-0083 大野市明倫町8番12号 TEL (0779) 66-2600
302	大野支店三番通出張所 (大野支店店舗内)	
311	勝山支店	〒911-0804 勝山市元町1丁目10番40号 TEL (0779) 88-0003

店番	住所・電話番号
330	丸岡支店 〒910-0245 坂井市丸岡町谷町2丁目13番地 TEL (0776) 66-2300
332	坂井町支店 〒919-0523 坂井市坂井町新庄3丁目103番地 TEL (0776) 66-0074

店番	春江エリア	住所・電話番号
334	春江支店	〒910-0418 坂井市春江町江留下高道27 TEL (0776) 51-0020
118	川西支店 (春江支店店舗内)	
336	春江支店春江西出張所 (春江支店店舗内)	

店番	三国エリア	住所・電話番号
340	三国支店	〒913-0041 坂井市三国町覚善第5号28番地1 TEL (0776) 82-6688
341	三国支店三国本町出張所 (三国支店店舗内)	

店番	あわらエリア	住所・電話番号
333	金津支店	〒919-0628 あわら市大満2丁目31番5号 TEL (0776) 73-0550
344	芦原支店	〒910-4104 あわら市温泉1丁目301番地 TEL (0776) 77-2422

店番	敦賀エリア	住所・電話番号
400	敦賀支店	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 TEL (0770) 25-4444
401	敦賀港支店 (敦賀支店店舗内)	
403	栗野支店	〒914-0124 敦賀市市野々町1丁目118番地 TEL (0770) 25-4310
404	松島支店	〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12番16号 TEL (0770) 25-6444
411	美浜支店	〒919-1138 三方郡美浜町河原市第9号15番地の2 TEL (0770) 32-1117
414	三方支店	〒919-1303 三方上中郡若狭町三方40号1番地 TEL (0770) 45-1231

店番	若狭エリア	住所・電話番号
420	小浜支店	〒917-0072 小浜市千種1丁目1番10号 TEL (0770) 52-2111
424	東小浜支店 (小浜支店店舗内)	
425	名田庄支店 (小浜支店店舗内)	
431	上中支店 (小浜支店店舗内)	
432	おおい支店	〒919-2111 大飯郡おおい町本郷126号3番地の3 TEL (0770) 77-1080
433	高浜支店	〒919-2225 大飯郡高浜町宮崎76号2番地の1 TEL (0770) 72-3800
632	舞鶴支店 (高浜支店店舗内)	

石川県

店番	金沢エリア	住所・電話番号
500	金沢支店	〒920-0025 金沢市駅西本町2丁目2番2号 TEL (076) 231-4235
502	金沢支店金沢東山出張所 (金沢支店店舗内)	
504	泉野支店 (金沢支店店舗内)	
505	野々市支店	〒921-8817 野々市市横宮町5番1号 TEL (076) 248-4221
506	金沢医科大学病院支店	〒920-0265 河北郡内灘町字大学1丁目1番地 TEL (076) 286-3221
507	金沢西インター支店	〒921-8005 金沢市蘭明町1丁目246番地 TEL (076) 291-3441
509	上荒屋支店	〒921-8065 金沢市上荒屋1丁目319番地 TEL (076) 269-4411
511	松任支店	〒924-0865 白山市倉光1丁目105番地 TEL (076) 276-0121

店番	住所・電話番号
521	小松支店 〒923-0926 小松市龍助町101番地 TEL (0761) 22-2801
531	大聖寺支店 〒922-0036 加賀市大聖寺一本橋町15番地の3 TEL (0761) 72-1740

富山県

店番	富山エリア	住所・電話番号
560	富山支店	〒939-8281 富山市今泉西部町6番地の4 TEL (076) 491-8800
562	富山南支店 (富山支店店舗内)	
561	新庄支店	〒930-0985 富山市田中町5丁目1番3号 TEL (076) 492-4161

店番	住所・電話番号
570	高岡支店 〒933-0878 高岡市東上関329番地 TEL (0766) 24-4141

滋賀県

店番	住所・電話番号	
650	大津支店 〒520-0854 大津市鳥居川町6番26号 TEL (077) 537-2910	
651	草津支店 (大津支店店舗内)	

その他都府県

東京支店・名古屋支店・京都支店にキャッシュコーナーはございません。

店番	住所・電話番号
600	東京支店 〒101-0044 千代田区鍛冶町1丁目8番8号 TEL (03) 3253-2861
610	大阪支店 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 TEL (06) 6251-8501
620	名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目18番24号 TEL (052) 221-8811
630	京都支店 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦雲師下町手洗水町678番地 TEL (075) 221-7831

その他

・小浜支店名田庄営業室を除く下記店舗につきましては、通常の預金等の業務はお取り扱いしておりません。
 ・ふくぎんプラザ福井は大和田支店、ふくぎんプラザ鯖江はアル・プラザ鯖江、ふくぎんプラザ敦賀は敦賀支店にATMを設置しております。

店番	住所・電話番号
048	振込専用支店 〒918-8152 福井市今市町66号7番地1
191	ジュラチック王国支店 〒918-8152 福井市今市町66号7番地1 ※実際の店舗を持たないインターネット支店です。 TEL (0120) 291-271
	小浜支店名田庄営業室 〒917-0382 大飯郡おおい町名田庄久坂第3号68番2 ※毎週水曜日のみ営業する出張所です。 TEL (0770) 52-2111
	ふくぎんプラザ福井 〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 大和田支店2階 TEL (0120) 291-808
	ふくぎんプラザ鯖江 〒916-0038 鯖江市下河端町16字下町16番1 アル・プラザ鯖江2階 TEL (0120) 291-005
	ふくぎんプラザ敦賀 〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 敦賀支店内 TEL (0120) 291-303
	福井コンサルティングプラザ 〒910-0023 福井市順化1丁目3番3号 福銀センタービル1階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [1]
	武生コンサルティングプラザ 〒915-0074 越前市蓬萊町1番1号 福井銀行武生支店2階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [2]
	坂井コンサルティングプラザ 〒910-0418 坂井市春江町江留下高道27 福井銀行春江支店2階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [3]
	敦賀コンサルティングプラザ 〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 福井銀行敦賀支店2階 TEL (0120) 291-248 呼出番号 [4]

営業拠点数の推移

(単位：店)

	2023年3月末日		2024年3月末日	
	支店	出張所	支店	出張所
福井県	72	6	72	6
石川県	9	1	9	1
富山県	4	-	4	-
(北陸三県)	85	7	85	7
東京都	1	-	1	-
愛知県	1	-	1	-
滋賀県	2	-	2	-
京都府	1	-	1	-
大阪府	1	-	1	-
(都市地区)	6	-	6	-
合計	91	7	91	7

店舗外キャッシュコーナーのご案内 (2024年7月末)

* 稼働日・稼働時間は設置場所によって異なります。

セブン銀行との共同ATM

- 福井市 (中心部エリア)**
- 福井市役所
 - 福井西武
 - ワイプラザグルメ館松本店 町屋
 - フレンドタウン福井
 - ハピリン JR福井駅

- 福井市 (東部エリア)**
- パリオ ゲンキー四ツ居店前
 - パロー米松店
 - 福井県立病院
 - 福井県済生会病院 心臓血圧センター
 - ハーツ志比口店 美山 東郷

- 福井市 (西部エリア)**
- 福井総合クリニック
 - 金井学園
 - パロー豊岡店
 - パワーセンターワッセ
 - MEGAドン・キホーテUNY福井店
 - A コープやしろ
 - ハニーやしろ店
 - PLANT-3 清水店
 - 越廼
 - 川西

- 福井市 (南部エリア)**
- 福井赤十字病院
 - 福井厚生病院前
 - ワイプラザグルメ館福井南店
 - ワイプラザグルメ館江守店
 - ハーツ羽水店
 - ベル1階
 - ベル2階
 - フクビ化学前

- 福井市 (北部エリア)**
- アピタ福井大和田店
 - ワイプラザ パロー新田塚店 高木 中央市場
 - ラブリーパートナーエルパ

- 鯖江市**
- パロー東鯖江店
 - パワーシティ鯖江ワイプラザ
 - ハーツさばえ店
 - アル・プラザ鯖江
 - ワイプラザグルメ館東鯖江店
 - ハーツ神中店

- 越前町**
- メルシ ヤマキシ朝日店
 - 越前町

- 越前市**
- シビィ
 - パロー武生店
 - 武生楽市
 - ワイプラザグルメ館武生南店
 - パロー国高店
 - ホームセンターみつわ武生店

- 池田町**
- 池田町役場

- 南越前町**
- 河野
 - 今庄駅

- 永平寺町**
- 福井大学医学部附属病院中央診療棟
 - ハニーARENA福大病院前
 - 上志比支所

- 大野市**
- かじ惣リブレ店
 - ヴィオ
 - ホームセンターみつわ九頭龍店
 - パローこぶし通り店

- 勝山市**
- 勝山サン・プラザ
 - 福井勝山総合病院
 - ヤササキホームセンター勝山店

- 坂井市**
- 西長田
 - アミ
 - ハーツはるえ
 - ピアゴ丸岡店
 - ハニー丸岡店前
 - イーザ
 - 三国南本町
 - PLANT-2 坂井店

- あわら市**
- パロー金津店

- 敦賀市**
- アル・プラザ敦賀店
 - ハーツつるが店
 - MEGAドン・キホーテUNY敦賀店
 - パロー敦賀店
 - パロー木崎店
 - ワイプラザグルメ館敦賀店

- 若狭町**
- レピア
 - PLANT-2 上中店 上中

- 小浜市**
- 小浜ショッピングセンター
 - パロー小浜店 東小浜

- おおい町**
- 名田庄
 - サニーマートおおい店

- 高浜町**
- サニーマート南店

- 川北町**
- PLANT-3 川北店

- 内灘町**
- 金沢医科大学病院

- 津幡町**
- PLANT-3 津幡町

- 射水市**
- 真生会富山病院

- 舞鶴市**
- らぼーる

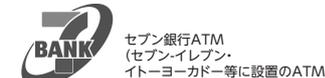
キャッシュコーナー (CD・ATM) 数の推移

		2023年3月末日		2024年3月末日	
		設置箇所数	設置台数	設置箇所数	設置台数
福井銀行	店舗内CD・ATM	64	151	58	124
	店舗外CD・ATM	103	122	97	106
合計		167	273	155	230
コンビニ提携	セブン銀行	24,989	26,913	25,505	27,422
	イーネット	12,016	12,394	11,624	11,988
	ローソン銀行	13,467	13,509	13,541	13,584

提携ATM

福井ふるさとネットサービス (福井銀行・福井信用金庫・敦賀信用金庫・小浜信用金庫・越前信用金庫・福井県JAバンク(JA/信連)ATM) 入出金手数料無料でご利用いただけます。 ※福井県JAバンク(JA/信連)の入金はご利用いただけません。

上記のほか、以下のコンビニ等に設置のATMでもご利用いただけます。



セブン銀行



ローソン銀行



ゆうちょ銀行



FITネットATM (北國銀行・富山第一銀行ATM)

入出金手数料無料でご利用いただけます。



イーネットATM (ファミリーマート等に設置のATM)



イオン銀行ATM (イオンモール等に設置のATM)